足立成和信用金庫　創立100周年記念誌

ADACHI SEIWA SHINKIN BANK
100th ANNIVERSARY

信頼･つながり･100周年



足立成和信用金庫

足立成和信用金庫　創立100周年記念誌

足立成和信用金庫は
地域の皆さまからの信用と信頼によるご支持により成り立っております。
これからも地域の皆さまとのつながりを大事に寄り添いながら、
100年、そして、その先の未来へと歩んでまいります。

足立成和信用金庫
ADACHI SEIWA SHINKIN BANK 100th Anniversary

信頼・つながり・100周年

創立100周年のロゴマークとキャッチコピーを職員から募集し、決定いたしました。
ロゴマークは「100」という数字を中心に、虹色のアーチとわが街を囲む川を描くことで、
“未来へつなぐ夢の架け橋”を表現いたしました。
さらに、手をつないで家族で歩くシルエットを入れることで、
地域と共に歩み、互いに助け合うイメージを表現いたしました。

足立成和信用金庫



～地域と築く100年の誇りを、未来へつなぐ信念に～

足立成和信用金庫は、２０２６年(令和８年)11月11日をもちまして、おかげさまで創立１００周年を迎えます。

これもひとえに、永年にわたり今日までご支援ならびにご愛顧いただきました会員、総代、地域の皆さまと関係各位、そして当金庫発展の礎を築かれました先輩役職員の努力の賜物であり、ここに深く感謝を申し上げます。

顧みますと、第一次大戦後不況や関東大震災といった甚大な災害の影響を受け、苦しい局面が続く街の状況を憂いた地域の有志の方々によって、「相互扶助」の精神のもと、「共存共栄」を目的に、１９２６年(大正１５年)千住町役場の一角で当金庫は誕生いたしました。当金庫はその後も、昭和の金融恐慌や第二次世界大戦後の混乱期、近年ではリーマンショックや新型コロナウイルス感染症の流行など、幾多の激動期を乗り越え、今日まで着実に成長してまいりました。

今般、金庫創立１００年にあたり、①当金庫を支えていただいた全ての方への感謝の気持ちを胸に考動する ②地域と築く１００年の誇りを、未来へつなぐ信念に ③不変の価値を未来に紡(つむ)ぐ ④「地域のため」挑戦と成長を誓い、信頼され愛され続ける存在へ　という４つのコンセプトを掲げ、地域との「信頼」や「つながり」をより一層高め、「地域金融力」向上を推し進めるべく、役職員一人一人が単なる行動ではなく、皆さまの声に基づき自ら“考動”できる職員の育成を図り、業務に邁進しているところでございます。

私たちは、これからも、そして“次の１００年(未来)”に向けて、さらに成長・発展できるよう、都度最適な組織へと進化させ、当金庫のレガシーである“おせっかい”な活動を通じ、皆さまのお役に立つ“地域ナンバーワンの金融機関”を、役職員一丸となって目指してまいりますので、今後とも倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

２０２６年３月

足立成和信用金庫 理事長　土屋武司

目次へ戻る

目次

● ごあいさつ …… 2
● 経営理念 …… 5
● 100周年記念対談 …… 6

「協創力」を高めて多彩で魅力あふれる足立区を目指す

足立区長 近藤やよい氏 × 足立成和信用金庫理事長 土屋武司

● 足立成和信用金庫100年の歩み
- 地域の皆さまの金融機関として誕生、復興の礎を築く …… 12
- 店舗エリアを拡大し預金量を伸ばす …… 14
- 新生「足立成和信用金庫」がスタート！ …… 16
- 地域密着型金融機関として各種施策を推進 …… 18
- 金庫創立90周年に向けた5か年計画を策定 …… 20
- 地域の皆さまと協力し、コロナ禍に負けない地域経済発展を目指す …… 22
- 「あだちせいわ百年ブランド」確立へ向け、加速し飛躍へ …… 24

● 社会貢献活動・地域環境への配慮・会員組織活動 …… 26

地域の皆さまと共に豊かで暮らしやすいまちづくり

● 100周年記念 ～想いを未来へつなぐ～ あだちせいわ職員アンケート …… 36
● 預金・積金、貸出金の推移 …… 42
● 会員数、職員数の推移 …… 44
● 金庫概要、組織図 …… 45
● 歴代理事長年表 …… 46
● 総代会 …… 47
● 役職員紹介
- 役員 …… 48
- 営業店職員 …… 50
- 本部職員 …… 62

● クラブ活動・ワークライフバランスの取組み …… 68
● 店舗ネットワーク …… 69
● 100周年記念座談会 …… 70

金融機関という枠を超えて
地元の未来のために深く関わっていきたい

理事 × 若手職員

あとがき …… 76

経営理念

足立成和信用金庫は
お客さまと共に成長するため
衆知をもって考動し
独自性を高め
地域の未来づくりに貢献する

経営理念のキーワード

《衆知》
役職員全員の知恵・考え・意見を積極的に出し合うこと

《考動》
役職員全員が常に目的・目標をもって取組・活動すること

《独自性》
狭域高密度の営業展開を行う環境という特性をもった
地域金融機関だからこそできる取組みや良さ

経営方針

経営の公正・倫理・透明をもって、

1. 健全主義に徹します。
2. 顧客優先主義に徹します。
3. 現場主義に徹します。
4. 社会貢献主義に徹します。
5. 自己責任主義に徹します。

足立成和信用金庫100周年記念対談

足立区長 近藤やよい氏 × 足立成和信用金庫理事長 土屋武司

「協創力」を高めて多彩で魅力あふれる足立区を目指す

「地域と共に成長し、独自性を高め、地域の未来づくりに貢献」して地域NO.1の「考動力ある信用金庫づくり」を目指す土屋理事長が、「協働から協創」へ区民と共に歩み、区民のために行動する近藤区長をお招きして、足立区の過去・現在・未来について語っていただきました。



土屋理事長　私は大田区の生まれですが8歳から20年足立区で育ち、現在まで足立区で働いています。足立区にはお世話になっているし、強い思い入れもあり、過去も現在も知っているからこそ、未来のことも考えたいんです。

近藤区長　私は足立区生まれですが、地元の学校ではなく私立の女子校に通っていました。その頃のことで覚えているのは、クラスの中で水洗トイレじゃないのはうちだけだったこと。千住は当時から水洗でしたが、区内にはまだ水洗になっていない所が多かったんです。今は、東京藝術大学ができたり、大学病院ができたり、現在の足立区を見ると、私が言うのもなんですが、隔世の感がありますね。

足立区で育ったから思い出もいっぱいです

土屋理事長　大きく変わりましたね。学生時代は、カステラ電車と言われたクリーム色で上が黒く焦げてるような電車で通学していました。車内はエアコンが効いていなくて扇風機だったし、油引きだったので乗っていると油臭かったですね。北千住駅の常磐線や東武線に乗り換える連絡通路はサラリーマンがチョイ呑みをする憩いの場で、キヨスクで買ったワンカップや缶ビールをプシュッとやりながら、缶詰をつまみにワイワイガヤガヤ。その時代と比べるとまったく違います。区長がおっしゃっていた「乗り換えるなら、乗り換えるだけで終わらせずに、街に出てもらう」というのを実現したのが、まさに今の千住ですね。昔はおじさん横丁みたいでしたが、今は若者も多く集まるようになって、飲み屋横丁には若者がいっぱいです。

近藤区長　いわゆるせんべろですね。確かに千住はこれまでも大きく変わりましたが、まだまだこれからです。東口の北側の再開発の準備組合も立ち上がりましたから、これからさらに変わっていくはずです。

土屋理事長　変わっていくことに期待しつつ、でもその一方で、今の千住ならではの良さが消えていってしまうのかと思うと、ものすごく寂しいと感じてしまいます。

近藤区長　いや、それは本当に気をつけなければいけないことで、千住の良さをどうやって残しながら、うまくバランスを取っていくかだと思いますよね。

土屋理事長　ぜひ、そういう街づくり的なところにも参画させてください。一緒になって、我々ができることをいろいろやらせていただきたいと思っています。

コロナ禍におけるさまざまな支援や災害対策に力を入れてきた10年

土屋理事長　90周年に対談をお願いしてから10年たちましたが、この10年で記憶に残っているのは何ですか。当金庫にとっては、なんと言っても、コロナ禍です。おそらくかなり区長も大変な思いをされたと思いますが、我々も、新型コロナウイルス対策資金という金融支援にとても苦労しました。そして我々はお客さまと窓口で相対するので、お客さまはもちろん職員がいつ罹患するかわからないという状況はものすごく不安でした。さらにお客さまの所に直接伺っていろいろなお手伝いをする、そんなお客さまとの距離の近さが我々の武器でもあるのに、それができなくなってしまい、本当に困りました。そんな過酷な状況の中でどうすればお客さまを守り、職員を守っていけるか、それでも立ち止まることなく足立成和信用金庫を発展させていかなければならないというのは、非常に重く、あまりに大変だったので、かなり思い出深いんです。

近藤区長　もちろん私にとってもコロナ禍のことは深く記憶に残っていますが、それ以外にもこの10年で強く記憶に残っていることがあります。それは足立区政の軸足が徐々に移ってきたことです。まず1つはなんといっても災害対策。これはどの自治体でもそうだとは思いますが、特に足立区の場合は、四方を川に囲まれていることと、地盤も脆弱であるため、地震対策だけやればいいとか、水害対策や台風への対策だけをやればいいというわけにはいかないんです。全ての災害に対して足立区として取り組んでいかなければならないということが明確にクローズアップされた10年だったんです。幸いにもこの間、足立区は大きな被害を受けていません。でも他の所で起こった大きな災害を見るたび、いつ何時、足立区も災害に見舞われるかわからないと痛切に思いますね。だから、まず災害対策をしなければならないと、気を緩めることなく、力を入れてきました。もちろんこれからも変わらずに災害対策には力を入れていきます。

土屋理事長　おっしゃる通りですね。本当にそういう意味からすると足立区にお住まいの方は地震に備えて耐震をしなければならないので、当金庫でも災害対策融資などの商品を作らせていただきました。でもそれだけではなく足立区は、空き家対策だったり、補助制度を作ったりと、いろいろな対策をされているのを伺っていたので、当金庫としても、その一端を担わなければいけないと思っていました。防火対策として消防の方や足立区さんと一緒になって街の安全安心を守るために、道路の消火栓に接続して初期消火を行うためのスタンドパイプをほとんどの支店に設置しています。でもただ置くだけではだめなんです。消火栓がどこにあるのか、そしてどうすればスタンドパイプをいち早く使うことができるのか、実際にやってみないとわからないことも多く、いざという時に役立つようにしっかり根付かせるためには、まだまだこれからやらなければいけないことがいっぱいあると思っています。



土屋理事長　ありがとうございます。実は、当金庫は、大正15年の11月11日に千住町役場の中の一角を借りてスタートしているんですよ。第一次世界大戦が終わり、その後に関東大震災が起きて、まさに金融大恐慌のようだったそうです。そのため千住にあった地域銀行もほとんど破綻状態で、誰もお金を借りることができなかったと聞いています。そのため街の人も商工業者の方も非常に困っていて、その窮状を見かねた役場の方々や地元の有志たちが立ち上がり、なんとかするために千住町役場の一角に組合を立ち上げたのが当金庫の始まりです。

足立区が産みの親で、足立区の皆さまが育ての親

近藤区長　資金はどうされたのですか？

土屋理事長　みんなでお金を出し合い、お金を集めたんです。そんな歴史を知ると、私個人としては「当金庫の産みの親が足立区で、育ての親が足立区の皆さま」だと思えてならないんです。おかげさまで100周年という節目を迎えることができ、改めて本当に感謝しないといけないと思っています。

近藤区長　災害とともに、大きく動いたのが、子どもたちに対する支援です。例えば医学部や歯学部にも対応可能な返済不要の奨学金を区独自に創設したり、小学校・中学校の給食費を無償化してきました。さらに今年度からは小学校と中学校の入学時の準備金10万円の支給も始めました。今まで区のボトルネック的課題※1は4つあって、まず治安対策、そして子どもの学力の定着、さらに健康寿命の延伸、そしてその全ての根底の課題である貧困の連鎖を断つことだと言ってきました。なかでもこの10年で貧困の連鎖を断つという本丸に取り組み、切り込んできたという実感があります。その意味では、口幅ったいようで恐縮ですが、区長を続けてこられたからこそここまで来たのだと思います。「継続は力」ということです。足立成和信用金庫さんも100周年とのことですが、それは単なる通過点ではなく、ひとつひとつ積み上げてきた成果であり、その上にまた次があるのだと思います。それを歴史の重みと言うのでしょうね。そして「竹は節目があるから強い」という言葉もありますが、100周年という節目をどのように迎えるか、職員の皆さまと気持ちを1つにして、何を思い、何を目指して、次にどう向かっていくかを考える、きっと意味のある年になるのではないでしょうか。

近藤区長　足立区の皆さまを助けるために、足立区の有志が力を合わせることで誕生したという足立成和信用金庫さんの原点とも言える考え方は、今でも足立成和信用金庫さんのCSR※2の考え方にも、融資の考え方にも、全てしっかり受け継がれ、生きていると感じますね。

土屋理事長　はい、当金庫は足立区を抜きには語れません。その意味でも特徴的なのが合併です。足立区に本店があった足立信用金庫と成和信用金庫が合併して足立区全体を網羅できる規模になったんです。さまざまな信用金庫が合併する今でも、1つの区に特化してその地域を担っているというケースは非常に珍しいんです。そして足立区から事業を広げた方たちのために、越谷や八潮、草加などにも支店を出しながらエリアの拡大を図っています。それも全て足立区で誕生し、成長できてのことです。

近藤区長　地域が広がっても、その考えの背骨みたいなものが脈々と生きているというのは素晴らしいことです。今、理事長は何代目になられるんですか。

土屋理事長　私で14代目になります。

※1　ボトルネック的課題：克服しない限り区内外から正当な評価が得られない根本的課題
※2　CSR：企業が利益の追求だけでなく、環境や社会、地球への配慮を含めて果たす社会的責任

近藤区長　そうですか。いや、すごいです。脈々とそれが途切れることなく、次から次へと継承されているというのは本当に素晴らしいことですし、足立区民の皆さま方にとっても、大きな喜びになると思いますね。

人と人が協力して創る力それが「協創力」です

土屋理事長　ありがとうございます。でもそれは理事長という個人ではなく、職員が1つになって地域の皆さまとつながっていることこそが、当金庫の強さだと思っています。このつながりの強さは1つの地域に対して我々が集中することができるから生まれるのだと思います。それもまさに区長が常々おっしゃっている「協創力」、協力して創る力ではないでしょうか。我々も今、「協創力」を意識した活動をしています。やっぱり個の単位でやることには限界があり、内容もそれなりのことしかできません。だから皆さんと協力して手を取り合う「協創力」が大切なんです。今年度取り組んでいる「千住宿」開宿400年祭もまさに「協創力」の結晶です。そこに参画してくれるいろんな人たちに恵まれて、つながりが生まれたからこそ、実現できました。未来に向かって今後も「協創力」を大事にして、やっていきたいと思っています。

近藤区長　2025年は、千住宿開宿400年ということで、区でもさまざまなイベントをやっております。民間の方もNPOや諸団体も含めてご協力いただいていますが、千住に本店がある足立成和信用金庫さんとしては、その手応えや反響をどのように受け止めていますか？

土屋理事長　そうですね。自分としては理想とテーマを掲げて実施したつもりです。でも中心となって組み立てるのはうちの職員達で、たくさんの人たちとつながり、巻き込むことで私が思っていた以上のことができたと思います。十人十色動きが波及して、いい方向に向いて、ひとつひとつ評価をしてみても、全体的に見ても、やっぱりいいものができたと思います。これが積み重ねのおかげだとすれば、400年の次の500年、600年になった時にも、いいものとして残っていくのではないでしょうか。

近藤区長　私が、いちばん痛切に感じているのは、単なるお祭り騒ぎじゃないということです。なぜ千住宿開宿400年が貴重かと言うと、江戸から明治、大正にかけて裕福な千住の旦那衆が、ただ面白おかしく享楽的に生活するだけじゃなく、パトロンとして文化や芸術を支えて大きな流れを千住のまちで作り上げたという背景なんです。「千住の琳派」を生み出したように、これからも区として、さまざまな企業の皆さまと共に、文化や芸術を次世代に伝えていくつもりです。それこそが「協創力」です。千住には東京藝術大学もあり、さらに盛り上げていきたいですね。400年を機にかつて持っていた千住の良さをみんなで共有することが、気持ちをひとつにするという意味で、とても大事なのだと感じています。もちろん足立区は千住ばかりではありませんが、一点突破、全面展開ということもありますから、一番の顔である千住に力を持ってもらうことが、足立区全体の底上げにつながると思うんです。今、千原ジュニアさんをイメージキャラクターにして「ととなう、千住。」というプロモーションもやっていますが、あれも千住だからできたのだと思います。



土屋理事長　我々も「千住宿」開宿400年祭をやるにあたり、歴史と文化の伝承というテーマを掲げているのですが、その中でもやっぱり「千住を知る」ということがいかに大切か、気づかされました。私なりには、千住に関することはかなり知っているつもりでいたのですが、琳派というこんなに美しく歴史的に価値のあるものが千住にあったんだと驚きました。

近藤区長　今年から2032年の区制100周年に向かっ

ての8年間、足立区の基本計画の推進エンジンは「やりたいことが叶うまち」です。私の一存で決めたわけではなくて、審議会の意見を踏まえ、区で決めさせていただきました。今まではどちらかというと弱点の克服に注力してきましたが、その成果が出始めてる今こそ、足立区の魅力を作って、魅力を引き出して、それを区内外に知っていただくことができると思っています。足立区のステージが確実にひとつ上がったと言っていただけるのがすごくうれしいですね。区民の皆さまの誇りや、愛着にも大きく影響してくると思いますし、職員の自信にもなります。10人いれば10人の思いがみんな違うわけですから、それだけ多様な区政をきめ細かく展開していくことが必要になり、責任も重くなるんです。

土屋理事長　なるほど、足立区制100周年まであと8年ですか。さらに魅力的に変わっていくのでしょうね。

デフレからインフレへ
時代は変わりつつあります

近藤区長　この前、区内のある社長さんとお会いした時、自分が社長になってからずっとデフレの時代で、そういう経営には慣れているけれど、インフレの状態になって、正直どうやって動いていけばいいかわからなくて困っている。だから同業者の社長同士で連携を取りながら、いろいろ意見を聞いていると話してくれました。私たちも多様なことに対応していかなければいけないように、足立成和信用金庫さんも、今まさに、お客さまが求められていること、こういう情報が欲しいとか、こういう支援が欲しいとか、すごくドラスティックな転換を求められているのではないですか？

土屋理事長　30年間金利がない時代が続き、若い社長もうちの若い職員も金利がある時代を知りません。だから金利が上がるとどうなるかイメージすること自体が難しく、そのためじっくりと話し込むことも難しいんです。これから1段、2段と金利が上がってくる時代に向かって、住宅ローンや設備投資はどうなるかなどをお客さまにきちんと伝えられるように職員を教育しています。

近藤区長　区の産業経済部でも企業の実態調査を行いました。こういう難しい時代にありながらも意識を高く持って経営改革に臨んでいらっしゃる社長さんもいますが、そのような方ばかりではありません。もちろん何をしていいかわからないということもあるのでしょうが、もう現状維持でいいんだとか、後継者がなかなか決まらないから自分の代でお終いなんだという方もいました。そんな悩める社長さんに対しても足立成和信用金庫さんは支援していかなければならないと思うのですが、国内経済、世界経済が変化している今、これまでのミッションが変化したことはありますか？

土屋理事長　今は金利の問題だけでなく、人手不足や物価高などいろいろな問題が一斉に起きていて、当金庫に求められるのは預金、融資、為替という金融機関の三大業務だけではありません。非金融のことも含め、お客さまが必要としていることは何なのか、きちんと声を聞いていろんな施策を打ち、その施策のなかで何を優先的にやるべきかを考えています。お客さまに安心安全で必要な商品を提供するだけではなく、必要な施策を紹介したり、結びつけたりしています。これからもお客さまが何を実現させたいのか耳を傾け、そのためにどんなことをしなければならないか、今後も引き続き取り組んでまいります。

非金融のことも含め
お客さまのために

近藤区長　足立区もまさに今、区内経済の活性化や物価高騰対策を非常に強く求められています。決算のたびに、予算を構築するたびに、足立成和信用金庫さんには市況の情報やいろいろなアドバイスをいただき、具体的な施策に生かしています。これからも区政に関わる私たちには、フェーズが変わりつつあるなか、変化をきちっと施策の中に落とし込まなければならないという仕事があるので、情報を提供していただき、共有しながら、こちらの方向でいいのか、ぜひご指導いただければと思っています。

土屋理事長　とんでもありません。こちらこそ、ぜひよろしくお願いします。ちょうど今、当金庫では、最近よく言われる生成AIの活用に取り組んでいます。AIを仕事に役立てることでどれだけ効率化を図ることができるか、AIを積極的に使って人員をある程度に絞り、余った人材を別のことに活用する動きを進めています。でもそれを可能にするためには、正しいデータをいくつも積み重ねていかないとできないのですが、今はまだその件数の絶対数が圧倒的に足りません。だからこれからより高いデータの獲得と蓄積を目指して、どんどん推し進めていくつもりです。

近藤区長　足立区もまったく同じ状況ですね。今までは足立成和信用金庫さんとは経済状況についての意見交換が多かったと思いますが、これからはこんなふうにしてAIをより効果的に活用できましたとか、システムについても意見交換ができたらありがたいですね。一方で足立区の実態調査を見ると、AIどころかホームページすら作っていないだけでなく、作る予定もないという企業さんもかなりの割合でいらっしゃいます。そんな現実の問題を変えていくのはなかなか厳しいですよね。



❶「千住宿」開宿400年祭を象徴するのぼり旗。
❷第6回あだち夢のお菓子コンテストにて小学校5～6年生から募集したアイデアの中から「チョコレートで千住箱を創る」という夢のお菓子をパティスリーラヴィアンレーヴ様が見事に実現してくれました。

土屋理事長　そうですね。でも私の若い頃とは違い、すでに大学時代にAIを活用してきた若い人たちもどんどん増えています。そんな若い力をもっと活用しながら転換を図っていきたいですね。私のようなアナログ人間も、実際にやってみるとこんなに便利なんだとわかるので、意識を変えてもらい、ある程度の年齢層まで巻き込みながら、今遅れている部分を少しずつ修正し、お客さまに喜んでもらえるDX環境を整えるお手伝いもさせていただこうと思っています。

「足立区出身です!」と
自信をもって言って欲しい

近藤区長　私の原点は、就任当時、新成人に、足立区のイメージが良くないから、胸を張って「足立区出身です！」と誇りをもって言えるように変えて欲しいと言われたことです。それ以来ボトルネック的課題の克服を中心に進めてきました。まさにこれからが正念場です。今まではマイナスのイメージを克服することを中心に進めてきましたが、それだけでは足りません。プラスのイメージにつながる魅力を作っていく双方向からのアプローチを強化して、より多くの方に愛着をもっていただける足立区にしていくつもりです。それを突き詰めていくのがこれからの使命だと思っています。

土屋理事長　私は、足立区は本当に劇的に変化して、きっといい街になっていくと信じているし、区が進めるエリアデザインの影響や、「千住の琳派」などの歴史もあり、まだこれから十分伸びる要素もいろいろ持っていると思っています。しかも物価は安い、交通手段もアクセスも年々向上している。住んでみたら、来てみたら、確実にわかる魅力もいっぱいあります。それをしっかり伝えていけば、これからどんどん発展していくはずです。

近藤区長　そうですね。足立区に住んだから子どもを産もうという気になれたとか、足立区だから子どもを産んで育てられたと思っていただけたら嬉しいですね。そして高齢になっても安心して暮らすことができた、会社をきちんと継続できた、新しい分野にチャレンジできたと、いろいろな方に「足立区だからこそ」って言っていただける、そんな足立区にしていきたいですね。

土屋理事長　当金庫の産みの親であり育ての親である足立区さんと同じ方向を向いて、一緒に足立区を盛り上げていきたいなと思っております。どうぞよろしくお願いします。

（2025年10月24日（金）足立成和信用金庫 本店本部ビルにおいて）

目次へ戻る

地域と共に信頼を築き、未来へつなぐ

足立成和信用金庫100年の歩み

大正末期、当金庫の前身である有限責任千住信用組合が誕生しました。
戦争、金融恐慌、高度成長期からバブル崩壊へと、さまざまな荒波に
遭遇する中で、常に地域の発展を目指し、地域の皆さまと共に
歩んできた100年の歳月を振り返ります。


千住火力発電所のお化け煙突

1926〜1955 地域の皆さまの金融機関として誕生、復興の礎を築く

足立信用金庫／成和信用金庫の歩み　大正15年〜昭和30年

●青字 … 足立信用金庫　●紫字 … 成和信用金庫

1926-1930
大正15年〜昭和5年

'26. 8.18 ●産業組合法に基づき有限責任千住信用組合設立許可を取得
'26.11.11 ●初代組合長に竹中森之助就任。千住町役場内に事務所を置き業務開始（南足立郡千住町大字千住2丁目668番地）
'27. 3.15 ●金融恐慌はじまる
'27. 4.24 ●第1回通常総会開催
'27. 7.13 ●組合事務所に電話架設
'29.12.13 ●組合事務所建設敷地（千住町大字千住1丁目1番の4)を購入
'30. 4. 4 ●組合事務所新築委員会を開催。地鎮祭執行
'30. 7.19 ●組合事務所の新築落成式を挙行


1927年頃の千住町

1931-1935
昭和6年〜昭和10年

'31. 9.18 ●満州事変勃発
'32.10. 1 ●市郡合併で南足立郡三町七カ村により足立区誕生
'32.12. ●区域内各自治体へ掲示板を寄付
'33. 2.15 ●当組合の第1号月報発行
'33. 3.27 ●日本、国際連盟脱退
'35. 5.26 ●「創立10周年記念式典・祝賀会」実施


足立信用金庫の前身 有限責任千住信用組合（千住町役場内）


最初の独立事務所となった「千住信用組合」の全景（1930年）



成和信用金庫の前身 足立報徳社

足立成和信用金庫が基盤とする現在の足立区は、古くは江戸時代より幕府の直轄地として、また日光街道の最初の宿場町として栄えました。さらに明治の終わりから大正時代になると商工業が発達し、都市としての賑わいをみせていきます。

当時は千住町といわれたこの地域一帯は、大正の終わりになると第一次世界大戦後の反動不況、さらに関東大震災による多大な被害が生じ、「中小産者階級ノ惨状ハ実ニ名状スベカラザル」状況に陥りました。そこで都市にふさわしい金融機関としての信用組合の設立の機運が高まったことが、足立信用金庫の前身である有限責任千住信用組合の設立の発端となり、1926年11月11日に「地域の皆さまの金融機関」としてスタートを切りました。

その直後の1927年に起こった金融恐慌では、組合員の増加と融資の促進に努力し、千住町民の窮状に積極的に対応しました。この試練を乗り越えたことにより、地域社会の信頼を獲得していきました。

創立10周年を迎えた1935年前後の日本は、1931年の満州事変、1936年の二・二六事件、翌年の日中戦争と、暗い谷間の時代へと突入していきました。

1936-1940
昭和11年〜昭和15年

'36. 2.10 ●第2代組合長に石川勝祐就任
'36.12. 8 ●産業組合法に基づき有限責任梅島信用組合設立。初代組合長に花井末次郎就任
'37. 6.25 ●組合業務開始(足立区梅田町529)
'37. 7. 7 ●日中戦争はじまる
'37. 9.21 ●護国貯金の取扱開始
'38. 1.30 ●第1回通常総代会開催
'39. 6.13 ●百億貯蓄強調週間を設定し、宣伝リーフレットを配布
'40. 1. 6 ●第3代組合長に荒井常吉就任

この戦時体制下で金融統制が強化され、千住信用組合も、貯蓄の奨励と戦時公社債の買入れが使命として課されていきました。1941年には太平洋戦争へと戦火が拡大。1945年の空襲は足立区を焦土と化し、同4月には組合事務所も焼失を逃れませんでした。

一方、成和信用金庫の前身である有限責任梅島信用組合は、1936年12月8日に設立、翌年の6月25日より業務を開始しました。事務所を梅田町に置き、その後営業地区の拡張認可を受けて1944年には14か町に拡大、本木出張所、西新井出張所などを開設し、翌年の終戦を迎えました。

千住信用組合は翌年、営業地区を千住一円から足立区全体へと拡張し、名称も足立信用組合と改称。併せて木造の新本店を新築して、戦後の営業を本格的に開始しました。1951年には、中小企業金融機関の確立を目的とする信用金庫法の施行により、足立信用金庫に改組しました。

梅島信用組合も1947年に保証責任信用販売購買利用組合足立報徳社に名称変更、1949年には市街地信用組合法に基づき報徳民生信用組合に改組し、さらに1953年に成和信用金庫に改組を行いました。

1941-1945
昭和16年〜昭和20年

'41. 1.27 ●第2代組合長に鴨下榮吉就任
'41. 3.13 ●国民貯蓄組合法公布(6/20施行)
'41.12. 8 ●太平洋戦争はじまる
'43. 4.14 ●第4代組合長に西野吉三郎就任
'43. 6.30 ●市街地信用組合法に基づき千住信用組合と改組（9月に総代選挙実施）
'43. 7. 1 ●東京都制施行
'44. 1.28 ●第3代組合長に中野泰汎就任
'44. 5. 1 ●事務所を移転(足立区梅田町530)
'44. 8.21 ●本木出張所開設
'44.12. 6 ●西新井出張所開設
'45. 4.13 ●空襲により本店焼失、仮事務所（千住2丁目40番地・内田病院)にて営業
'45. 6. ●第5代組合長に織畑勝之助就任
'45. 8.15 ●太平洋戦争終戦
'45. 9. 1 ●第4代組合長に山田百政就任
'45. 9. ●仮事務所を千住寿町84番地に移転

1946-1950
昭和21年〜昭和25年

'46. 2. 1 ●第5代組合長に中野泰汎就任
'46.12.12 ●「創立10周年記念祝賀会」実施
'47. 6.12 ●保証責任信用販売購買利用組合足立報徳社に名称変更
'47. 8.16 ●保木間出張所開設
'48.10. ●足立信用組合と名称変更
'48.11.21 ●新本店新築、仮事務所より移転
'49. 3.25 ●千住出張所開設
'49. 3.28 ●市街地信用組合法に基づき報徳民生信用組合に改組
'49. 4.23 ●1ドル360円の単一為替レート設定
'49.11. 1 ●梅田出張所開設
'50. 4. 1 ●中小企業等協同組合法に基づき信用協同組合に改組
'50. 4. 1 ●中小企業等協同組合法に基づき信用協同組合に改組
'50. 9. ●預金量1億円達成


成和信用金庫へ改組

戦後の混乱した経済状況から立ち直りつつあるなかで、足立信用金庫は1957年、同金庫初の3か年計画を策定し、預金量10億円を目指す運動を展開。また同時期に鉄筋コンクリート造りの新本店を完成させ、低金利の貸出策を推進していきました。

1962年、井上信蔵理事長はサービス精神として「三奉主義」(会員への低金利、地域社会への奉仕、金庫職員の生活向上)を提唱。この考えが当金庫の現在の経営理念に引き継がれています。1960年ごろには事務の機械化を精力的に推進し、信用金庫業界でもっとも進んだ機械化モデルとして全国的に有名になりました。創立40周年を迎えた1965年の年度末には預金量82億円・貸出金67億円を突破しました。

1951-1955
昭和26年〜昭和30年

'51.10.20 ●信用金庫法に基づき足立信用金庫に改組
'52. 3.31 ●預金量1億円達成
'52. 7.10 ●本木支店開設
'52.10.10 ●本店事務所改築移転
'53. 4. 1 ●梅田支店を新築移転
'53. 6. 5 ●信用金庫法に基づき成和信用金庫に改組、初代理事長に中野泰汎就任
'53. 8.31 ●全国信用金庫大会で優良金庫として表彰される
'54. 3.31 ●預金量2億円達成
'54. 5.24 ●第6代理事長に井上信蔵就任（信用組合初代組合長より通算)

100th ANNIVERSARY

1956〜2000 店舗エリアを拡大し預金量を伸ばす

足立信用金庫／成和信用金庫の歩み　昭和31年〜平成12年

●青字 … 足立信用金庫　●紫字 … 成和信用金庫



足立信用金庫の新本店

1965年ごろから、足立信用金庫は営業網の整備をすすめ、営業地区も足立区に隣接する埼玉県草加市、八潮市、三郷市へ、1974年にはベッドタウンとして発展する越谷市等へと拡張しました。1967年には預金量が100億円、1971年には200億円、1973年には300億円、そして1977年には500億円を達成しました。成和信用金庫も1966年に創立30周年を迎えると、営業地区を三郷市、草加市、川口市、越谷市、吉川市へと拡張。1966年には預金量50億円、1970年には100億円を突破しました。

また1970年ごろから金融機関では普通預金のオンライン化が導入されはじめ、両金庫でもその対応が迫られつつありました。足立信用金庫では1975年4月に信金東京共同事務センターの普通預金オンラインに加入し、店舗ごとにオンライン新端末機への切り替えをすすめ、1980年度には全店舗にCDコーナーの設置を完了させました。成和信用金庫では1973年2月より本店・本木支店にて普通預金のオンライン化を開始し、1978年4月に全店舗で完了しました。

1956-1960
昭和31年〜昭和35年

'56.12. 8 ●「創立20周年記念式典」実施
'56.12.18 ●日本、国際連合に正式加盟
'57. 6. ●本店リニューアルオープン(足立区千住1丁目16番地)
'58. 7. ●預金量10億円達成
'59.11. ●預金出納業務の機械化にナショナル金銭登録機を導入
'60. 6. ●預金事務合理化の第一弾としてオリベッティ会計機を導入
'60. 7.18 ●預金量10億円達成
'61. 3.11 ●シンボルマークを制定
'61.11.23 ●「創立25周年記念式典」実施
'62. 2. 1 ●東京都の人口1,000万人達成
'62. 3. 1 ●西新井支店新築開設
'63. 6.30 ●預金量30億円達成
'63.11.18 ●亀有駅前支店開設
'64. 3. ●NCR390電子計算機導入 (集中処理方式)
'64.10.10 ●第18回オリンピック競技大会(1964／東京)開催
'64.11.25 ●旭町出張所開設
'65. 1.11 ●第2代理事長に安江正一就任
'65. 3.15 ●草加支店開設
'65. 9. 6 ●本店リニューアルオープン
'65.10.23 ●梅田支店リニューアルオープン
'65.11.13 ●「創立40周年記念式典」実施

1961-1965
昭和36年〜昭和40年



足立信用金庫 預金1,000億達成総決起大会

1980年には足立区の人口は約62万人となりました。他区と比べて被雇用者の比率が低く、自営業者・家族就業者の比率が高い、という特色を有しており、このため中小企業金融に対する期待はいっそう高まりをみせていました。

足立信用金庫では1980年から1985年にかけて、一挙に5店舗を新設。この店舗の拡充を通して、顧客・地域とのつながりを深めていくイベントが数多く実施されました。1985年度からは金利自由化に対応する3か年計画に着手し、職員の教育研修の強化、組織の改革など経営体質の強化に向けて歩みはじめました。そして同年末に、念願の預金量1,000億円を達成しました。

1966-1970
昭和41年〜昭和45年

'66. 2. 4 ●預金量50億円達成
'66. 3.31 ●日本の総人口1億人達成
'66.12. 8 ●「創立30周年記念式典」実施
'67. 5. 8 ●竹の塚支店開設。本部を竹の塚支店に移転
'67.12. ●預金量100億円達成
'69. 3. 1 ●第7代理事長に小林權兵衛就任
'70. 7.30 ●預金量100億円を達成
'70.12.19 ●第8代理事長に山本武幸就任
'71. 5.24 ●江北支店開設
'71.12.15 ●北越谷支店開設
'71.12. ●預金量200億円達成
'72. 5.15 ●沖縄が日本復帰 沖縄県発足
'73. 2.12 ●本店および本木支店の普通預金オンライン開始
'73. 2.14 ●円、変動相場制に移行
'73. 9. ●預金量300億円達成
'74. 3.30 ●第3代理事長に樹林晴美就任
'74.12.31 ●預金量200億円達成
'75. 4. ●信金東京共同事務センターの普通預金オンラインに加入

1971-1975
昭和46年〜昭和50年



成和信用金庫 創立25周年記念式典

'76.10.18 ●全国信用金庫データシステム稼働
'76.10.25 ●佐野支店開設
'76.12. 4 ●「創立40周年記念式典」実施
'77. 5.25 ●第9代理事長に三宅八郎就任
'77.11. ●預金量500億円達成
'78. 4. ●預金関係オンライン全店完了
'78. 6.29 ●預金量300億円達成
'79. 2.26 ●オンライン新端末機に切替え(4月までに全店完了)
'79. 5. ●全店舗にCDコーナー設置(1980年4月完了)
'80. 3.10 ●花畑支店開設
'80.10. 1 ●「VISAカード」取扱開始
'80.10.27 ●花畑支店開設

1976-1980
昭和51年〜昭和55年

1989年4月、国内で初めての消費税(3%)が導入されました。日本経済は内需主導で力強い拡大路線を続けており、世の中は好景気に沸いていました。

足立信用金庫ではこうした背景のもと、「地域密着による預貸併進と人材能力の活性化」をメインテーマとする3か年計画を策定。積極的に新たな経営戦略を展開し、成果を上げていきます。その一環として誕生したのが、年金受給者の親睦会として現在も活動している「あだちニコニコクラブ」です。こうした取組みが功を奏し、1994年12月には、年金振込件数が1万件を突破しました。

同金庫ではさらに1991年2月から現金自動預入支払機(ATM)を日曜日も稼働させ、顧客の利便性の向上に努め、1996年には「モニター制度」を発足させました。また3か年計画の最終年度にあたる1991年4月からは「翔べ2000」を標語に掲げ、預金量2,000億円に向けて邁進。ついに1991年12月に達成しました。

成和信用金庫もまた、1991年2月から現金自動預入支払機の日曜日稼働を開始。1993年には「せいわビジネスクラブ」、1994年には年金受給者を対象にした「せいわ“ほのぼの”クラブ」を発足させるなどの取組みを行ってきました。



オンラインテラーズマシンの導入(1984年9月)

'81. 6.30 ●預金量400億円達成
'81. 8.31 ●全店に現金自動預入支払機(ATM)設置
'81. 9. 1 ●外国為替取次の取扱開始
'81. 9.25 ●皿沼支店開設
'83. 3.30 ●金庫旗制定
'83. 9.16 ●六木支店開設
'84. 6.15 ●柳原支店開設
'84.11. 1 ●日本銀行が1万円、5千円、千円の新紙幣発行
'84.12. 6 ●弘道支店開設
'85. 4.19 ●青井支店開設
'85.12.25 ●預金量1,000億円達成

1981-1985
昭和56年〜昭和60年

1986-1988
昭和61年〜昭和63年

'86. 5.15 ●第10代理事長に井上信男就任
'86. 6.16 ●研修所を西伊興町に開所
'86. 7.18 ●古千谷支店開設
'86. 8. 9 ●第2、第3土曜日のATM、CD稼働
'86.11. 1 ●「創立60周年記念式典」実施
'86.12. 7 ●「創立50周年記念式典・祝賀パーティー」実施
'86.12. 8 ●シンボルマーク制定
'87. 4.27 ●関連会社「足立信用リース株式会社」設立
'87. 5. 1 ●第4代理事長に今井武就任
'87.11.25 ●西新井駅前支店開設
'88. 6. 1 ●「あだちニュービジネスクラブ(ANBC)」発足
'89. 1. 7 ●昭和天皇崩御
'89. 4. 1 ●消費税スタート
'89. 7. ●預金量1,500億円達成
'89. 9.18 ●入谷支店開設
'89. 9.27 ●江北支店開設
'89. 9.28 ●年金受給者の親睦会「あだちニコニコクラブ」発足
'89.11. 9 ●ベルリンの壁が崩壊
'90. 7.17 ●柳町支店開設
'91. 2.10 ●日曜日のATM・CD稼働
'91. 2.17 ●日曜日のATM・CD稼働
'91.11. 6 ●第5代理事長に杉山日出男就任
'91.12.20 ●預金量2,000億円達成
'92. 4.20 ●北綾瀬支店開設
'93. 9. 3 ●「せいわビジネスクラブ」発会式を開催
'94. 6. 7 ●「あだちマネージメントクラブ(AMC)」発足
'94. 8. 1 ●年金受給者の親睦会「せいわ“ほのぼの”クラブ」発足
'94.10.17 ●預金金利の完全自由化
'94.12.15 ●年金振込件数1万件達成
'95. 1.17 ●阪神・淡路大震災発生
'95. 7.24 ●初の足立区外店舗として戸ヶ崎支店開設

1989-1995
昭和64年／平成元年〜平成7年

1991年以降、これまでの好景気が一転、バブル景気の崩壊によって、日本経済は大きな混乱をきたし、地元の中小企業も厳しい冬の時代を迎えることとなります。こうした中、地域経済を支えていく金融機関として、両金庫はその存在感をさらに強めていきました。

足立信用金庫は1996年には外国為替公認銀行の認可を取得、金融の自由化・国際化への対応も開始しています。

また2001年には都内城東地区にある6信用金庫で業務提携を行い、「シグマバンクグループ」を結成。スケールメリットを活かしたコスト低減を図り、協調・連携によって共栄を実現し、地域経済の発展に貢献していくことを目指した共同体です。

1996-2000
平成8年〜平成12年

'96. 3.12 ●八潮支店開設
'96.10. 1 ●外国為替取扱業務開始(9/27認可取得)
'96.10. 8 ●「創立70周年記念式典・祝賀会」実施
'96.11. 7 ●八潮支店開設
'96.11.18 ●モニター制度発足(18人にモニターを委嘱)
'96.12. 6 ●「創立60周年記念式典・祝賀会」実施
'98. 5.21 ●綾瀬支店開設
'99. 6.23 ●第11代理事長に井上映治就任
2000. 6.28 ●第6代理事長に田茂美佐夫就任
'00. 9.30 ●休日ローン相談開始(西新井駅前支店・綾瀬支店)
'00.10.12 ●「せいわニュービジネスクラブ」発会式を開催



足立信用金庫「あだちニコニコクラブ」発足



足立信用金庫 創立60周年記念式典



佐野支店開店20周年記念旅行(1996年10月)

2001～2008 新生「足立成和信用金庫」がスタート！

足立成和信用金庫の歩み　　**平成13年～平成20年**

2002年4月25日、足立信用金庫と成和信用金庫は対等合併に合意しました。

20世紀末から都市銀行の再編によりメガバンクが相次いで誕生し、また、信用金庫業界も再編が続いていた環境下で、資産の健全性と収益力を向上させ、地元中小企業への円滑な事業資金の供給を図り、地元経済・社会の発展にこれまで以上の貢献をすることが合併の目的です。両金庫は足立区に本店を置き、地理的・経済的に共通の経営基盤を有していました。この合併により確固たる経営基盤を構築し、お客さまの利便性の向上と地域社会の貢献という、地域金融機関としての役割を果たしていくこととなりました。



合併発表時の井上足立信用金庫理事長と田茂成和信用金庫理事長

そして2002年12月16日、足立信用金庫と成和信用金庫の合併が成立し、新生「足立成和信用金庫」が誕生しました。翌2003年4月から、当金庫の新中期経営計画「チャレンジ21」がスタートを切り、経営計画の柱とした「徹底した効率化の推進と収益力の強化」に向け、歩みをはじめました。リレーションシップバンキングの推進による地域社会への貢献活動と、地域金融機関としての存在感と役割を強化するための収益力の強化を謳った経営計画を両輪とし、合併後の新生「足立成和信用金庫」は動き出しました。



足立成和信用金庫としてスタート

2001
平成13年

- 2.27 ●モバイルバンキング取扱開始
- 4. 2 ●6信用金庫による業務提携「シグマバンクグループ」発足
- 4. 1 ●公立小・中・高校が完全週5日制に。「ゆとり教育」スタート
- 4.25 ●足立信用金庫と成和信用金庫の合併を発表
- 10.23 ●「足立信用金庫・成和信用金庫役職員交流会」実施
- 11. 1 ●合併記念特別金利住宅ローン取扱開始
- 11. 1 ●合併記念特別金利定期預金取扱開始
- 12. 6 ●「合併記念全店統一お客さま感謝デー」実施
- 12.16 ●足立信用金庫と成和信用金庫が合併し「足立成和信用金庫」としてスタート

2002
平成14年

- 3.29 ●荒川土手清掃「荒川クリーンエイド」参加（以降、年1回頻度で2019年まで参加）
- 4. 1 ●日本郵政公社発足
- 6. 3 ●ニコニコクラブ（年金友の会）イベント「あだちせいわニコニコ寄席」開催（以降、毎年開催）
- 6.24 ●「あだちせいわマネージメントクラブ総会および講演会・交流会」開催
- 7. 2 ●「あだちせいわエクセレントクラブ講演会および交流会」開催
- 7.11 ●「全店統一お客さま感謝デー」実施
- 9.11 ●「あだちせいわマネージメントクラブ視察旅行」実施（ANA機体メンテナンス工場）
- 10. ●献血運動協力（以降、年1～2回頻度で毎年協力）
- 11.10 ●「あだちせいわニコニコクラブ親睦一泊旅行」実施（～11/14 日光）（以降、毎年実施）
- 12. 1 ●東京・名古屋・大阪で地上デジタル放送開始
- 12.16 ●「合併1周年記念 お客さま感謝デー」実施

2003
平成15年

2004年度も引き続き、リレーションシップバンキング機能強化計画は「チャレンジ21・リレバン推進委員会」を中心に基本方針やアクションプログラムに基づいた各種施策の積極的な取組みを行い、特に中小企業支援のための融資新商品「創業支援融資サクセス21」の取扱い開始や、インキュベーション施設の設置、経営革新支援法の承認支援、中小企業金融の取組強化として開発した無担保無保証融資商品「財務ローン」等は地域の利用者から評価を受け、全体的な計画は集中改善期間である2か年を通して概ね達成され成果も現れました。

また同年9月には当金庫における合併後最初の取組みとして、経営の効率改善と収益力の強化を目指し、北綾瀬支店を綾瀬支店に統合しました。

2005年度は融資増強の施策を強化するとともに中期経営計画「チャレンジ21」最終年度の仕上げと、2006年度までの2か年を重点強化期間として引き継がれた新アクションプログラム「地域密着型金融推進計画」の取組みを積極的に展開。具体的には、新たに創業支援セミナーの開催、経営相談会や財務・税務相談会の実施、シンジケートローンの導入、地域利用者の利便性向上に向けた施策など各種取組に邁進し、さらに経営力強化に向けた店舗統廃合も実施しました。

合併4年目となる2006年度は、当金庫創立80周年の節目となる重要な年度でもあり、豊かな未来の再構築を目指した新中期経営計画「あだちせいわルネッサンス80」をスタートさせました。

さらに地域金融機関としての社会的使命と地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、社会貢献事業・お客さま向け事業・職員向け事業を3本柱とした「創立80周年記念事業」を展開。11月には80周年記念旅行・祝賀会を挙行したほか、全店舗において「創立80周年記念全店統一お客さま感謝デー」を実施し、地元のお客さまへの感謝の気持ちを伝えました。



創立80周年記念定期預金「ビックワン」販売

2004
平成16年

- 2.25 ●「あだちせいわ異業種交流会設立総会」開催
- 3.11 ●「シグマバンクグループ異業種交流会」発足（以降、2008年まで毎年開催）
- 4. 1 ●東京都の営団地下鉄が民営化
- 5.19 ●「あだちせいわ異業種交流会」開催
- 9.13 ●北綾瀬支店を綾瀬支店に統合
- 11. 1 ●日本銀行が1万円、5千円、千円の新紙幣発行





荒川土手清掃「荒川クリーンエイド」実施の様子（2006年9月）

2005
平成17年

2007年の前半は、大都市圏を中心にして景気の回復傾向が見られましたが、下半期になると7月に発生したアメリカのサブプライム問題、続くリーマン・ショックと国内マーケットは混乱し、当金庫の営業エリアの中小企業の景況感は依然として厳しい状況が続いていました。

こうした中、当金庫では6月に新理事長が就任したことから各種の記念商品を発売するとともに、地域密着型金融の推進に一層力を注ぐことで、順調に預金量を増やし、10月には預金量4,000億円を達成しました。

さらに「金融サービスを通じて地域の繁栄と発展に奉仕し、感謝の気持ちを持って顧客満足を最優先する」という経営理念のもと、各種施策を推進。新規開設事業者に対し当金庫のインキュベーション施設「創業支援館」を格安な家賃で提供し、創業間もない企業の支援を行うなど、ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化にも注力しました。

前年に行われたお客さまアンケートで、休日にゆっくりローン相談をしたいといった声を受け、8月には旭町支店で日曜日にも営業を行うサンデーバンキングを開始しました。これは当時の信金業界では画期的で、都内では先駆け的な取組みとして注目されました。

また地球温暖化防止国民運動への賛同、その取組みの一環として、2007年6月より職員による夏季のクール・ビズを実施。2008年には「エコ定期預金」を発売し、多くのお客さまからの支持をいただくことができました。

- 3.12 ●「救命講習会」参加
- 3.16 ●シグマバンクグループで福祉車両を寄贈
- 3.22 ●「信金パトロール隊」発足
- 3.31 ●シグマバンクグループ4金庫で中小企業支援のため、商工組合中央金庫と業務提携
- 4. 1 ●ペイオフ全面解禁
- 7.19 ●戸ヶ崎支店を八潮支店に統合
- 9. 5 ●柳原支店を旭町支店の出張所に変更
- 10. 8 ●八潮支店休日ローン相談会開始
- 12. 6 ●社団法人「小さな親切運動」の法人会員に加入



創立80周年記念パーティー

2006
平成18年



地元の祭りに参加



地元の中小企業をさらに支援

- 1. ●全営業店および本部各階に使用済み切手、ベルマーク回収箱設置
- 2.20 ●谷在家支店を皿沼支店に統合
- 3. 9 ●日銀が量的緩和政策を終結
- 5. 1 ●創立80周年記念「定期積金ビック1」販売（～6/20）
- 5. 1 ●全営業店を子供110番の家に登録
- 6.19 ●「救命講習会」実施
- 8. 3 ●都立高校インターンシップ受入れ
- 9. 9 ●全役員が成田山大師堂を参拝し、物故者供養を実施
- 9.28 ●「あだちせいわ経営塾」発足（以降、毎年開催）
- 10. 7 ●「創立80周年記念先輩職員への感謝の集い」開催
- 10. 7 ●あだち区民まつりに参加、バザーを実施
- 10.12 ●「創立80周年記念全店ゴルフ大会」を開催
- 10.16 ●創立80周年記念「ビックワン定期預金」販売（～11/17）
- 10.18 ●「創立80周年記念講演会」開催（講師：童門冬二氏）
- 10.24 ●「21世紀セミナー足立懇話会」発足（以降、年3～6回頻度で開催）
- 11. 3 ●「創立80周年記念役職員親睦旅行・祝賀会」実施（～11/4 京都）
- 11.10 ●「創立80周年記念全店統一お客さま感謝デー」実施
- 11.17 ●足立区と八潮市の社会福祉協議会に車椅子等を寄贈
- 12.22 ●預金量3,900億円達成

2007
平成19年

- 2.14 ●「創立80周年記念オーストラリア旅行」実施（～2/26）
- 3.30 ●創立80周年記念誌発行
- 6.11 ●クール・ビズの取組みを開始
- 6.27 ●第12代理事長に初鹿野恵太郎就任
- 7.13 ●「全店統一お客さま感謝デー」実施（全2回）（以降、年1～2回頻度で2019年まで実施）
- 8.26 ●旭町支店にて日曜営業（サンデーバンキング）開始
- 9.14 ●月探査衛星「かぐや」打ち上げ成功
- 10. 1 ●新理事長就任記念「特別住宅ローン」「特別金利マイカーローン」販売
- 10. 1 ●郵政民営化スタート
- 10.23 ●預金量4,000億円達成
- 10.25 ●井上映治会長就任
- 10.31 ●西新井駅西口ATMコーナー新設オープン
- 12.17 ●合併5周年 店舗周辺美化清掃実施

2008
平成20年

- 1.18 ●「新理事長就任記念明治座観劇会」開催（題目「川中美幸特別講演」）
- 9.15 ●米大手証券会社リーマン・ブラザーズが経営破綻
- 10.14 ●「振り込め詐欺撲滅集中週間」実施（～10/17）（以降、定期的に実施）
- 11. 4 ●ウォーム・ビズの取組みを開始
- 11.19 ●「普通救命講習」実施（以降、普通救命技能認定証更新時に実施）



サンデーバンキング開始



「エコ定期預金」

100th ANNIVERSARY

2009〜2013 地域密着型金融機関として各種施策を推進

足立成和信用金庫の歩み　　**平成21年〜平成25年**

2009年度より新3か年経営計画がスタート。その主要な施策の一つとして「地域密着型金融の深化」を掲げました。地域社会の持続的発展に貢献することを社会的使命とする基本的な考え方のもと、事業再生支援・金融の円滑化、お客さまの利便性向上など地域経済・社会により密着した活動の展開を目指しました。

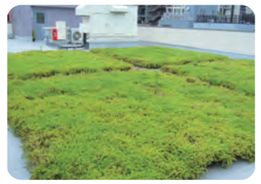
依然、国内の厳しい経済環境を踏まえ、この年の12月には「中小企業等金融円滑化法」が時限立法として施行されたことから、当金庫でも地域の事業者や個人のお客さまに対し、きめ細かな支援、また金融の仲介機能を積極的に発揮していくため、金融円滑化に係る基本方針を定め、体制を整備してお客さまへの適切な対応に努めました。

以前から荒川河川敷の清掃などの社会貢献・環境活動にも取り組んでいましたが、2010年3月には屋上緑化や省電力など環境に配慮した当金庫初のエコ店舗として亀有駅前支店をリニューアルオープン。環境問題への積極的な取組みの一つのシンボルともなりました。

また近年増加している振り込め詐欺への対応を強化するため、2010年6月から「振り込め詐欺撲滅推進運動」を実施しました。職員一人ひとりの意識を高め、積極的に対策に乗り出したことで、実際に窓口での被害を未然に防ぐなどの成果をもたらしています。



環境に配慮した亀有駅前支店


亀有駅前支店の屋上緑化

2009 平成21年

- 5.15 ●政府のグリーン家電促進制度「エコポイント」がスタート
- 6. 9 ●「あだちせいわニコニコクラブ20周年観劇会」開催
- 8. 4 ●第1回「シグマバンクグループビジネス交流会」開催（以降、毎年開催）
- 11.11 ●当金庫創立記念日「全店統一店舗周辺清掃ボランティア活動（足立区ごみゼロ地域清掃活動）」実施（以降、毎年実施）
- 12. 2 ●「新現役交流会」開催（以降、定期的に開催）

2010 平成22年

- 3. 8 ●亀有駅前支店リニューアルオープン
- 3.31 ●平成の大合併終結。市町村数半減へ
- 6.13 ●探査機「はやぶさ」7年ぶりに地球へ帰還
- 6.22 ●第13代理事長に高杉浩明就任
- 10. 9 ●「あだち区民まつり A-Festa2010」参加協力（〜10/10）（以降、毎年参加）
- 12.23 ●「足立フレンドリーマラソン大会」協賛（主催：足立区陸上競技協会・足立フレンドリーマラソン実行委員会）（以降、毎年協賛）


振り込め詐欺撲滅推進運動


一連の積極的貢献により、警視庁より感謝状

2011 平成23年

- 2.21 ●皿沼支店建替工事に伴い、皿沼ATMコーナーを開設
- 2.23 ●「あだちせいわニコニコクラブ観劇会」開催（以降、毎年開催）
- 3.11 ●東日本大震災、三陸沖震源でM9.0
- 4.23 ●「東日本大震災の復興を応援するチャリティー絵画展」主催（〜4/30）
- 5.16 ●節電の取組みを実施（〜9/30）
- 7. 8 ●「全店統一東日本大震災復興支援感謝デー」実施
- 10.14 ●「創立85周年記念ゴルフコンペ」開催
- 10.22 ●「創立85周年記念パーティー」開催
- 11.14 ●「創立85周年記念あだちせいわニコニコクラブ観睦一泊旅行」実施（〜11/18 上州路）
- 11.22 ●「創立85周年記念総代感謝の集い」開催
- 12. 9 ●「全店統一東日本大震災復興支援感謝デー」実施

2011年は創立85周年にあたることから、特別融資商品の発売や各種記念事業に注力しました。

2012年度は、新中期経営計画「Adachiseiwa Progress 90th」を策定し、地域密着型金融の推進・信用金庫としての独自性の発揮・確固たる経営基盤の確立を重点施策として、当金庫90周年に向けた5か年計画の初年度がスタートしました。

お客さま満足の充実と地域社会との絆の強化を目指した取組みの中で、8月22日には六町ローンプラザを新設オープン。土日や夜間にも営業を行い、地元の皆さまに気軽にローン等の相談をしていただける環境を整えました。

また、9月10日にリニューアルオープンした皿沼支店は、自家発電やLED照明、車椅子の常備など、環境に配慮したユニバーサルデザインを採用。11月5日にリニューアルオープンした北越谷支店も、座って利用できる記帳台などを採用しました。その他全営業店でもロビーに筆談用ボード、補聴器、傘や杖を立てられるホルダーを設置するなど、ユニバーサルデザインを積極的に導入し、お客さまに優しい店舗づくりに向けての取組みを進化させました。加えて、この年より西新井駅西口と六町ATMコーナーでは営業開始時間を午前7時とし、お客さまの利便性の向上も図りました。

2013年は産学公金連携の取組みがさらに推進され、2月には東京電機大学、4月に東京未来大学、10月には東京理科大学と、「産学連携に関する協定書」を締結。地元取引先の技術力向上のための支援活動、地元産業の活性化活動の一環として、今後のさまざまな取組みが展開されることとなります。

この年は、5月に次世代を担う若手経営者・後継者を対象とした「あだちせいわ経営塾」の卒業生による「あだちせいわネクスト倶楽部」が発足。9月には「足立中小企業支援プラットフォーム」を当金庫が代表機関として立ち上げ、関東経済産業局から承認されました。地元中小企業の経営支援に向けて、さまざまな取組みが大きく形づくられた年ともなりました。

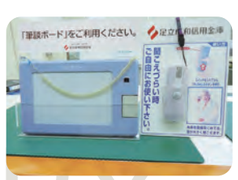


皿沼支店リニューアルオープン


北越谷支店リニューアルオープン

2012 平成24年

- 1. 1 ●首都高速道路が均一制から距離別料金に移行
- 1.14 ●「創立85周年記念あだちせいわニコニコクラブ観劇会」開催
- 2.13 ●「創立85周年記念旅行」実施（〜2/17 桜島・熊本・長崎）
- 4. 7 ●「春の花火と千本桜まつり」にて物産展を開催（〜4/8）（主催：足立区観光交流協会等）（以降、毎年当金庫取引先事業者等出店）
- 5.22 ●東京スカイツリー開業
- 6. 1 ●「震災復興支援定期預金」販売
- 6.15 ●信用金庫の日「全店統一店舗周辺清掃ボランティア活動（足立区ごみゼロ地域清掃活動）」実施（以降、毎年実施）
- 7. 2 ●「東北復興応援旅行」実施（〜7/6 平泉）
- 7.27 ●第30回オリンピック競技大会（2012／ロンドン）開催
- 8.22 ●六町ローンプラザオープン
- 9.10 ●皿沼支店リニューアルオープン
- 9.28 ●足立区へ起震車を寄贈
- 11. 5 ●北越谷支店リニューアルオープン
- 11.18 ●「海外視察研修旅行」実施（〜11/23 タイ）



全営業所に筆談用ボード等を導入

2013 平成25年

- 2. 3 ●「第62回 足立区スポーツ大会駅伝競走大会」協賛（足立区民体育大会主催）（以降、毎年協賛）
- 2.20 ●東京電機大学と産学連携協定を締結
- 4.15 ●「東北復興応援旅行」実施（〜4/19 会津若松）
- 4.30 ●東京未来大学と産学連携協定を締結
- 5.22 ●「あだちせいわネクスト倶楽部」発足式を開催
- 6. 8 ●「しょうぶまつり・世界の食広場」協力（主催：足立区観光交流協会）（〜6/9）（以降、毎年協力）
- 6.22 ●富士山がユネスコの世界遺産に登録
- 7. 1 ●東京都制施行70周年
- 8. 5 ●「夏休み親子日帰り旅行」実施（横浜 カップヌードルミュージアム）
- 9. 2 ●埼玉県越谷市を中心に電巻が発生し緊急融資の取扱いを開始
- 9.20 ●「足立中小企業支援プラットフォーム」を代表機関として立ち上げ
- 10.21 ●八潮支店を八潮中央支店に統合
- 10.25 ●東京理科大学と産学連携協定を締結
- 11.30 ●「海外視察研修旅行」実施（〜12/6 ベトナム・カンボジア）


産学公金企業展（東京電機大学ギャラリー）



「あだちせいわネクスト倶楽部」

2011年は日本全体が大きな苦難に見舞われた年になりました。3月11日、東日本大震災が起こったとき、当金庫はまだ営業時間内でしたが、早急に対応をし、お客さま、職員の身の安全の確保を図りました。建物の被害も軽微なもので済み、翌週からは通常通りの営業を開始しましたが、その後の計画停電では一部で業務の中断を余儀なくされるなどの影響を受けました。

東北地方を中心に大きな被害を受けたことから、復興の一助になればと4月には「東日本大震災の復興を応援するチャリティー絵画展」を主催、さらに全営業店に募金箱を設置しお客さまからの募金を日本赤十字社へ、また当金庫も2,000万円を足立区を通じて義援金として寄付しました。全営業店での「東日本大震災復興支援感謝デー」の実施や、震災復興支援定期預金の発売など、被災地支援の活動に取り組みました。

東北地方での工場被災などによってお取引先企業への影響も少なくなく、個別訪問による状況確認を行い、資金ニーズにも積極的に対応しました。


東日本大震災被災地支援活動

90th ANNIVERSARY

2014〜2018

金庫創立90周年に向けた5か年計画を策定

足立成和信用金庫の歩み　平成26年〜平成30年

2014
平成26年

2014年4月1日に消費税が17年ぶりに増税され、5%から8%へ引き上げられました。回復傾向を見せていた日本経済が再び厳しい状況へと陥る中、当金庫では2年後の創立90周年に向けて、お客さま満足度向上と地域密着型金融を通じた地域社会との絆の強化によって、地域になくてはならない「オンリーワン」、お客さまから信頼される「地域ナンバーワン」の金融機関になることを目指して、各種施策を推進しました。

2014年度の新たな取組みとしては、これまでの納税準備預金をさらに消費税に特化した「消費税納税積金」を発売。さらに足立区のがん検診受診率向上への活動をサポートする商品として「がん検診応援定期預金」を発売しました。また、年金受給者の方々を対象とした「年金感謝デー」を春と秋に新たに設け、来店したお客さまに粗品を進呈するなど、サービスを充実させました。



「消費税納税定期積金」



「がん検診応援定期預金」

2015年、新たに創業される方たちへの支援事業として「創業“おせっかい”宣言！」と題した創業見守りサービスを開始し、新規事業者を手厚くサポートする体制を整えました。3月4日、北千住駅前に各種ローンの相談を専門に取り扱う北千住ローンプラザがオープン。続いて10月21日にも西新井ローンプラザがオープンし、プラザは計3拠点となりました。

創立90周年を迎える2016年は大きな節目の年ともなりました。2012年度に策定した5か年の中期経営計画における融資残高目標を前倒しで達成し、さらに日本銀行のマイナス金利政策導入等における市場環境の変化に対応するため、一年前倒しで新中期経営計画を策定、スタートを切りました。創立90周年を機に前計画の取組みの進歩・発展を成し遂げるべく、計画の名称を「Adachiseiwa Progress Ⅱ」としました。

また、4月には花畑支店がリニューアルオープン、そして7月には念願だった本店・本部もリニューアルオープンしました。宿場町の縦格子をモチーフに取り入れ、当時の千住の賑わいを描いた「千住川」の絵をパンチングアートの壁面に採用した、地下1階・地上8階建ての建物で、本店の店舗と共に本部機能を集約しました。7月19日のオープンには、地元のお客さまや関係者の方々も集い、当金庫の新たなスタートを祝っていただきました。

11月には、長年にわたる当金庫の中小企業金融における功績が認められ、2016年秋の褒章において髙杉理事長（現非常勤理事）が黄綬褒章を受章しました。

創立90周年の記念事業として、「お客さま特別感謝デー」や「全店合同ゴルフコンペ」などの催事や、当金庫関係者への感謝の集いなどを実施しました。


本店・本部リニューアルオープン


本店 お客さま待合ロビー・カウンター
（写真撮影／黒住直臣）


旧本店の屋上に設置されていた
「打ち出の小槌」レリーフを
新本店本部ビル6階へ設置

2014

2. 4 ●「足立中小企業支援プラットフォーム」設立
2.22 ●「あだちせいわ異業種交流会」開催
4. 1 ●消費税が8%に増税
5.12 ●中央支店リニューアルオープン。
梅田支店を中央支店・弘道支店へ統合
6. 8 ●「JAZZ LIVE IN 北千住 2014」共催
6.24 ●「あだちせいわネクスト倶楽部セミナーおよび大学見学会」開催
（東京理科大学の産学連携）
7. 9 ●「創立88周年記念ドイツ・オーストリア旅行」実施（〜7/17）
7.29 ●「夏休み親子日帰り旅行」実施
（キッコーマン醤油工場／東武ホテルレバント東京）
9. 8 ●東京未来大学インターンシップ受入れ（〜9/12）
（以降、大学生のインターンシップを毎年受入れ）
9.24 ●「産学公金交流展・講演会・情報交換会」開催
10.16 ●「創立88周年記念全店合同ゴルフコンペ」実施
10.22 ●「シグマバンクグループ東北復興ボランティア活動」参加
（〜10/24 宮城県気仙沼市）
11. 4 ●事務センター開設
11.12 ●「信金発！地域発見フェア」参加（〜11/13）
11.17 ●ホームページをリニューアル
11.17 ●本店建替えのため仮店舗にて営業を開始
11.23 ●「海外視察研修旅行」実施（〜11/28 インドネシア）
12.17 ●融資量2,000億円達成


中央支店リニューアルオープン


北千住ローンプラザオープン

2015
平成27年

1.23 ●「あだちメッセ」共催（足立区主催）
（〜1/24）（以降、2019年まで毎年共催）
3. 4 ●北千住ローンプラザオープン
3.14 ●北陸新幹線 長野ー金沢間が開業
4.13 ●「沖縄2泊3日の旅」実施（〜4/17）
5.12 ●新本店建替予定地にて地鎮祭を執り行う
5.28 ●産学公金連携にて第8回「大学はおいしい!!」フェアに出店
（〜6/2）
6.15 ●「全店統一 年金感謝デー」実施（全2回）
（以降、年1〜2回頻度で2019年まで開催）
9. 5 ●職員参集訓練を実施
10.21 ●西新井ローンプラザオープン
11.16 ●「遺言・相続全国一斉相談会」開催
（以降、年1回頻度で開催）
12.25 ●預金量4,900億円達成
12.30 ●融資量2,100億円達成

2016
平成28年

2. 8 ●「あだちせいわネクスト倶楽部」弁護士による個別相談会・
経営法律セミナー開催
4. 1 ●一般家庭での電力自由化がスタート
4.18 ●花畑支店リニューアルオープン
5.15 ●「創立90周年記念それいけ！アンパンマンショー」開催
（シアター1010）
5.24 ●「都立城東職業能力開発センター見学会」開催
6.19 ●改正公職選挙法施行により選挙権が
18歳に引き下げられる
7. 3 ●「Music Space in 北千住」共催
（主催：東京商工会議所足立支部青年部）
7.11 ●新本店に本部機能を移転
7.19 ●本店新築オープン
8. 5 ●第31回オリンピック競技大会
（2016／リオデジャネイロ）開催
8.11 ●新祝日「山の日」が導入される
9.13 ●「地元・食の商談会」開催（以降、2022年まで毎年開催）
9.14 ●「第4回 産学公金交流会」開催
10. 1 ●「創立90周年記念先輩職員感謝の集い」実施
10.18 ●「創立90周年記念あだちせいわ総代の集い」開催
10.19 ●「創立90周年記念全店合同ゴルフコンペ」開催
11. 5 ●「創立90周年記念役職員親睦旅行」実施
11.29 ●融資量2,200億円達成
12. 9 ●足立区と「災害時における応急対策活動に対する支援に
関する協定」を締結
12. 9 ●「創立90周年記念全店統一お客さま特別感謝デー」実施
12.13 ●認知症サポーター養成講座実施（以降、定期的に実施）

2017
平成29年

1. 9 ●「あだちせいわネクスト倶楽部親睦ゴルフコンペ」開催
2.10 ●「創立90周年記念ニュージーランド旅行」実施
2.24 ●プレミアムフライデー初実施
3.17 ●創業者向けセミナー開催（足立中小企業支援プラットフォーム主催）
（以降、不定期開催）
3.25 ●「創立90周年記念明治座観劇会」開催（題目「細雪」）
6.12 ●上野動物園でジャイアントパンダ「シャンシャン」が誕生
6.13 ●「足立工業高校見学会」実施
8. 2 ●東京都教職員研修センターが実施する「民間企業体験研修」受入れ
8. 7 ●旭町支店ATMコーナーを旭町別館に移転し運用開始
9.21 ●東京消防庁より本店・本部ビルが優良防火対象物として認定
9.29 ●融資量2,300億円達成
10. 2 ●南花畑支店・六町ローンプラザ移転リニューアルオープン
10.29 ●「Music Space IN 北千住」共催（東京商工会議所主催）
11. 6 ●「事業承継セミナー」開催
11. 7 ●大規模地震を想定した「災害模擬訓練」を実施
12.26 ●預金量5,000億円達成

2018
平成30年

1. 9 ●創業支援施設「あかつき」入居受付開始
2. 9 ●第28回オリンピック冬季競技大会（2018／平昌）開催
3. 2 ●町の安全を守るため足立消防署へ「消防団可搬ポンプ積載車」を寄贈
3.20 ●足立区と「包括連携協定」を締結
5.11 ●足立区連携「創業者経営力アップ支援事業」開始（〜6/8）（以降、毎年実施）
6.22 ●第14代理事長に土屋武司就任
6.30 ●「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が
ユネスコの世界文化遺産に登録
7.15 ●休日年金相談会を開催（旭町支店、西新井ローンプラザ）
8.11 ●第57回東京都信用金庫協会野球大会にて当金庫の野球部が優勝
8.28 ●第1回「こどもおしごとらんど」協力（以降、毎年協力）
9. 9 ●「足立シティオーケストラ」協賛（以降、毎年協賛）
9.10 ●東京商工会議所「東商リレーションシッププログラム」（インターンシップ）
受入れ（以降、不定期に受入れ）
9.20 ●「人財採用と定着セミナー」を開催
10. 1 ●本庶佑京都大学特別教授がノーベル物理学賞を受賞
10.26 ●「あだちせいわ経営塾」卒業視察会を実施
12. 9 ●チャリティーイベント「あだちサンタウォーク」協賛
（あだちサンタウォーク実行委員会（(株)ジェイコム東京 足立局内）主催）
（以降、毎年協賛）


花畑支店リニューアルオープン


南花畑支店・六町ローンプラザ
移転リニューアルオープン

100th ANNIVERSARY

2014年5月には中央支店がリニューアルオープン。店舗前面ガラス張りの明るく開放感がある建物で、自家発電設備や防災備蓄庫を備え、太陽光発電やＬＥＤ照明、屋上緑化等を採用し防災や環境負荷の低減に取り組んでいます。

同日には当金庫の新たなイメージキャラクターとして、お子さまに大人気のアンパンマンが採用されました。通帳やキャッシュカード、各種イベントなどにさまざまな形で当金庫の顔として登場し、人気を博すようになりました。

そして、12月には目標とする融資量2,000億円を達成できました。

2019〜2021 地域の皆さまと協力し、コロナ禍に負けない地域経済発展を目指す

足立成和信用金庫の歩み　　平成31年／令和元年〜令和3年

2018年6月には、第14代理事長として土屋武司理事長が就任。その後、次の節目となる創立100周年に向け、新中期経営計画「『あだちせいわ百年ブランド』確立への1stステージ」（2019年4月から2022年3月まで）を策定し、経営理念や行動指針の見直しも行い、当金庫は気持ちを新たにして再スタートを切りました。

2019年5月より新元号「令和」が始まり、「令和」ブームが沸き起こりました。同年5月にはより質の高いサービスの提供を目指した店舗として、全自動貸金庫や電子記帳台の設備を取り入れた本木支店が新築移転オープンしました。

2020年1月には新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認され、瞬く間に日本全国に感染が拡大しました。不要不急の外出が制限され、日常生活や景気に大きく影響しました。当金庫では事業や生活に困窮する地域の皆さまを支えるべく、足立区の制度融資と当金庫独自の利子補給を掛け合わせた緊急対策融資の取扱いやゴールデンウィーク期間における休日相談会の実施、全店舗で融資相談特別窓口を設置するなど、地域金融機関として資金面の支援を強化しました。また、学校での授業が再開された同年6月には、日頃から相互に連携している足立区内にある3つの高校（足立学園、都立足立工業高校（現：都立足立工科高校）、潤徳女子高校）へマスクを寄贈いたしました。さらに、NPO法人地域の芽生え21主催のもと、ドアノブなどの消毒に有効なハセッパー水（除菌次亜塩素酸水）を7店舗で配布するなど、生活面でのコロナ対策支援にも努めました。他にも、職員のマスク着用・手指消毒等の徹底などの基本的なコロナ対策に併せて、ATM等のタッチパネルにへの抗菌フィルム貼付や昼休業の導入など、さまざまなコロナ対策を講じながら営業を継続しました。



本木支店新築移転オープン




区内3高校へマスク寄贈（左から足立学園、足立工業高校、潤徳女子高校）

2020年4月には、「地元・ふれ愛・しんきん感」から「地域応援！“おせっかい宣言”」へとキャッチコピーを一新し、積極的に“地域のお役に立つお手伝い”に注力しました。

2021年5月には本木関原支店を新築移転オープンしました。地域の皆さまのふれあいスペースを設けたほか、利便性向上のため、日曜・祝日もATMコーナーをご利用いただけるようになりました。

2021年度は、創立95周年記念事業の一環として、各宿場で制作された「御宿場印」を通じて、来街者が街をめぐり、街の魅力を楽しんでいただく「御宿場印プロジェクト」や、足立区内で空き家率の最も高い北千住地域の課題解決のために組成した「千住まちづくりファンド」により、地域の活性化を促進いたしました。さらに、コロナ等による家計急変で困窮する学生支援を目的とした給付型の奨学金制度「地域応援サポート奨学金」を実施。5件2,341千円を支給し、地域の未来を担う学生の学業充実に貢献しました。また、奨学金を支給した学生たちには、当金庫主催イベントへボランティアとして参加いただき、当金庫と一緒に地域貢献活動に取り組みながら、地域金融機関の在り方についても学んでいただきました。

さまざまな地域応援活動が実を結び、同年9月には融資量3,000億円を達成できました。


本木関原支店移転オープン


地域の皆さまのふれあいスペース

1. 7 ●新型コロナウイルスの感染拡大を受け、東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県の1都3県に緊急事態宣言発出
1.28 ●コロナ対策・支援　よい仕事おこしネットワークによるテイクアウト支援サイト「つながろうプロジェクト」協力
3. 5 ●飲食店応援「おいしさ、この手で。Handsプロジェクト開始
3.11 ●東日本大震災十周年追悼式が国立劇場（東京都千代田区）で開催
3.21 ●「あだちワンダフルCMグランプリ」協賛（以降、毎年協賛）
3.25 ●第32回オリンピック競技大会（2020／東京）の国内聖火リレーがスタート
4.17 ●栃木市西方町真名子 元気にしようプロジェクト×あだちの子ども支援「まなご出張マルシェ」開催（以降、「地域応援マルシェ」として各営業店にて不定期開催）
4.23 ●新型コロナウイルスの感染拡大を受け、東京都・大阪府・京都府・兵庫県の4都府県に緊急事態宣言発出
4.24 ●【御宿場印プロジェクト】「日光街道・日光西街道　御宿場印めぐり」一部の宿場にて御宿場印の先行販売開始
5.10 ●本木関原支店新築移転オープン
6.14 ●足立区連携「新型コロナウイルスワクチン接種予約サポート」実施 6/14〜7/31　計13店舗
6.15 ●「足立成和信用金庫 SDGs宣言」公表
6.15 ●江北支店・北越谷支店 開設50周年記念「お客さま感謝デー」実施
6.24 ●一般社団法人全国信用金庫協会「第24回信用金庫社会貢献賞」地域活性化しんきん運動・優秀賞受賞
7. 4 ●【御宿場印プロジェクト】「日光街道・日光西街道 御宿場印めぐり」御宿場印・御宿場印帳販売開始　全30か所（宿場・起点・日光坊中）

2019
平成31年／令和元年

1.11 ●文教大学と「産学連携協定」を締結
1.29 ●「業界合同サイバーセキュリティ訓練」実施
3. 1 ●「新理事長就任記念あだちせいわニコニコクラブ観劇会」開催（明治座）
4. 1 ●新元号「令和」を菅官房長官が発表
4.18 ●大相撲足立場所を後援（東京武道館）
5. 1 ●皇太子徳仁親王が第126代天皇に即位。「令和」に改元
5.20 ●本木支店新築移転オープン。西新井支店を本木支店へ統合
6.12 ●都立足立工業高等学校施設見学会に協賛（地元企業20社参加）
10. 1 ●足立区功労者表彰を受賞
10. 1 ●消費税が10%に増税
10. 3 ●中小企業庁 前田長官による講演会「足立区の発展に向けた中小企業のあり方」開催（足立区しんきん協議会主催）
10. 6 ●当金庫窓口にてプレミアム付商品券の休日販売をサポート（〜1/26 全6回）
10.25 ●本店エントランスに「松尾芭蕉像」を設置
11.15 ●「あだちせいわネクスト倶楽部親睦旅行」実施
11.30 ●「あだち菓子博inアリオ西新井」開催（区内経済団体と連携）（〜12/1）（以降、毎年開催）
12.12 ●足立区「ワーク・ライフ・バランス企業」の認定を受ける

2020
令和2年

1.16 ●日本国内初 新型コロナウイルスの感染確認
2. 5 ●新型コロナウイルスに関する相談窓口を全店舗に設置
2.18 ●「緊急支援融資（新型コロナウイルス感染症対策）」取扱開始
3. 9 ●新型コロナウイルス「足立区緊急対策融資」取扱開始 ※足立区との連携事業（独自支援策を区制度融資に付加）
3.14 ●JR東日本 京浜東北線・山手線「高輪ゲートウェイ駅」開業
4. 7 ●新型コロナウイルスの感染拡大を受け緊急事態宣言発出
4.12 ●コロナ対策・支援　ハセッパー水（除菌次亜塩素酸水）無料配布（4/12、4/17、4/22、4/24、5/15、5/22、6/15）全7回
4.24 ●「まぼろしの舎人公園千本桜まつり2020」特設サイトをWebにて開設（〜10/30）
5. 1 ●「第1回 あだち夢のお菓子コンテスト」開催（以降、毎年開催）
5. 2 ●「新型コロナ対策　緊急休日相談会」開催ゴールデンウィーク期間中 全6回
5.11 ●窓口営業における昼休業導入（新型コロナ第5類移行後も一部店舗にて継続実施）
5.18 ●「東京都感染防止協力金 個別相談会」開催（全2回）5月、6月
6. 1 ●コロナ対策・支援　区内3高校へマスク寄贈
6.15 ●「こども食堂応援野菜即売会・あだちのお菓子販売会」開催（以降、「地域応援マルシェ」として各営業店にて不定期開催）
6.15 ●柳原ATMコーナー移転オープン
6.19 ●「創業者向け個別相談会」開催（全6回）6月、7月、8月、9月、10月、11月
7. 3 ●熊本県を中心に九州や中部地方などで集中豪雨（令和2年7月豪雨）が発生
7.13 ●認知症サポーター研修実施
7.14 ●コロナ対策・支援　足立区へ備蓄用マスク寄贈
7.20 ●コロナ対策・支援　全区民事務所へフェイスシールドを寄贈
7.22 ●経済再興を目的とした経済政策「Go To キャンペーン」のうち「Go To トラベル」を開始
9.25 ●「事業継続力強化計画認定制度（BCP）セミナー」開催（以降、不定期開催）
10. 1 ●足立消防署の依頼により消防団員の増員協力（6名）
10. 1 ●経済再興を目的とした経済政策「Go To キャンペーン」のうち「Go To イート」を開始
10.10 ●「こども大名行列」協力（千住本町商店街振興組合主催）（以降、毎年協力）
10.16 ●優良防火対象物認定（当金庫本店・本部ビル）
10.24 ●「“地域応援”あだちガンバル企業写真展」足立区役所・アリオ西新井・JR北千住駅の3か所で展示協力　〜11/16まで
11.24 ●ホームページ全面リニューアル
12. 1 ●「ギャラクシティ音楽コンクール」協賛（以降、毎年協賛）
12. 1 ●「足立区ワーク・ライフ・バランス推進企業」三ツ星認定取得
12. 1 ●通帳レスサービス「しんきん通帳アプリ」提供開始
12.12 ●福島県矢祭町直送野菜販売「もったいない市場」開催（本店）（以降、「地域応援マルシェ」として不定期開催）
12.12 ●「足立フレンドリーマラソン バーチャルレース大会」特別協賛（主催：足立区陸上競技協会・足立フレンドリーマラソン実行委員会）
12.21 ●地域応援情報誌「ASyell！（あすエール）」創刊

2021
令和3年

7.27 ●潤徳女子高等学校インターンシップ受入れ（〜7/29）（以降、毎年受入れ）
8.20 ●預金量5,700億円達成
9.22 ●千住・足立・西新井の3消防署より消防団入団促進貢献に関する感謝状受領
9.30 ●融資量3,000億円達成
10. 8 ●足立区社会福祉協議会への防災用備蓄倉庫無償貸与契約を締結
10.15 ●皿沼支店開設40周年記念「お客さま感謝デー」実施
10.15 ●「地域応援マルシェ」開催（全4回）（以降、各営業店にて不定期開催）
10.15 ●「フードドライブ活動」実施（全3回）（以降、各イベントと同時開催）
11. 3 ●足立税務署より税務広報貢献に関する感謝状受領
11. 4 ●足立区連携「あだちせいわ創業者セミナー」開催（全5回）（以降、毎年開催）
11.19 ●足立成和信用金庫・さわやか信用金庫・城南信用金庫合同「同業種交流会」開催（以降、毎年開催）
11.19 ●野球メジャー エンゼルスの大谷翔平選手がア・リーグ初の満票でMVPに選出
11.30 ●新型コロナウイルス変異株「オミクロン株」の感染が国内初確認
12. 1 ●「足立区ワーク・ライフ・バランス推進企業」全5分野マスター認定取得
12. 9 ●創業者向け情報交換会「あだちの輪」開催（以降、「創業カフェ」として年1〜2回頻度で開催）
12.16 ●シグマバンクグループ発足20周年記念貢献事業 八潮市社会福祉協議会へ福祉車両寄贈
12.20 ●文教大学東京あだちキャンパスにて「第2回 あだち夢のお菓子コンテスト」作品展示（〜1/14）（以降、区内施設等にて不定期展示）
12.25 ●旭町支店での日曜営業（サンデーバンキング）終了

100th ANNIVERSARY

2022〜2025

「あだちせいわ百年ブランド」確立へ向け、加速し飛躍へ

足立成和信用金庫の歩み　　**令和4年〜令和7年**

2022年度も幾度となくコロナ感染症の流行がありましたが、中期経営計画「『あだちせいわ百年ブランド』確立への2nd stage」（2022年4月から2025年3月まで）を策定し、地域応援活動を加速させていきました。

2021年度から2022年度にかけて、区内3か所のローンプラザを総合相談拠点として地域応援相談プラザに変更しました。これにより、店頭窓口の営業時間外における相談機能充実を図り、お客さまの利便性を向上しました。

2023年2月には、災害対策にかかる連携強化のため、地元住民・足立区・千住警察署・千住消防署と連携して、大地震発生を想定した「近隣住民および帰宅困難者受入訓練」（BCP訓練）を実施しました。避難者の滞在中を想定したマンホールトイレ（仮設トイレ）設置や炊き出し訓練、備蓄品使用確認などを実施し、訓練結果の検証や課題の抽出を行い、体制整備を図りました。

2024年4月には、太陽光による災害時用蓄電設備導入などの災害対策を施した店舗として、入谷支店が足立区入谷から足立区舎人へ移転リニューアルオープンしました。

創立99周年を迎える2025年度には、創立100周年に向けた預金増強などを目的に「あだちせいわ100周年カウントダウン定期預金キャンペーン」をはじめとした複数のキャンペーンを実施。営業店職員の地道なPR活動により、2025年12月には目標とする預金量6,000億円を達成できました。

今後とも、地域の皆さまや自治体、学校、連携信用金庫などのさまざまなつながりを大事に、寄り添いながら、100周年のその先の未来を歩んでまいります。


BCP訓練での仮設トイレ設置の様子


入谷支店移転リニューアルオープン


入谷支店移転リニューアルオープン時のテープカットの様子

2022
令和4年

- 1. 7 ●「地域応援マルシェ in 北千住」開催（〜1/9・東武鉄道北千住駅構内）
- 1.22 ●足立区主催「あだちNPOフェスティバル2022」協力（以降、毎年協力）
- 2. 4 ●第24回オリンピック冬季競技大会（2022／北京）開催
- 2. 9 ●「創立95周年記念明治座観劇会」開催（題目「サザエさん」）
- 2.15 ●シグマバンクグループ発足20周年記念貢献事業 足立区へ障がい者支援自動車寄贈
- 3. 1 ●健康保険組合連合会東京連合会より健康優良企業認定証（銀）受領（以降、毎年継続受領）
- 3. 1 ●竹の塚警察署より東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 諸活動貢献に関する感謝状受領
- 3.23 ●当金庫育休中職員向け「あだちせいわワークライフバランス マザーズ会」実施（以降、定期的に開催）
- 3.30 ●「御宿場印マルシェ」開催（本店隣 東京芸術センター前広場）
- 4.13 ●東京電機大学・足立成和信用金庫「企業ニーズ向け研究費支援事業」共同研究契約締結式実施
- 5. 9 ●製造業向け「第7回地域応援商談会」開催（城南信用金庫共催）
- 5.15 ●沖縄復帰50周年記念式典が沖縄県宜野湾市で開催
- 5.25 ●【御宿場印プロジェクト】「会津西街道御宿場印贈呈式」開催
- 5.26 ●【御宿場印プロジェクト】「会津西街道御宿場印めぐり」各宿場にて御宿場印販売開始
- 6.10 ●全国信栄懇話会主催「第41回（2021年度）信用金庫PRコンクール」パンフレット・冊子部門 優秀賞受賞（地域応援情報誌『ASyell！（あすエール！）』）
- 6.15 ●シグマバンクグループ ビジネスマッチングサイト「Σbiz（シグマビズ）」開設
- 6.23 ●全国信栄懇話会主催「第13回信用金庫保険窓販表彰制度」損害保険部門（個人向け商品）優秀賞受賞
- 7. 4 ●【御宿場印プロジェクト】国土交通省 関東運輸局主催「江戸街道プロジェクトシンポジウム」に当金庫理事長 土屋武司が登壇し、「日光街道・日光西街道御宿場印めぐり」の講演実施
- 7.22 ●本木支店開設70周年記念「お客さま感謝デー・地域応援マルシェ」開催
- 8. 2 ●東京商工会議所より「勇気ある経営大賞」における応募企業の発掘・推進活動貢献に関する感謝状受領
- 8.19 ●職域パートナーシップ協定先企業従業員向け「資産形成セミナー」実施（以降、各企業に合わせた講義内容でセミナーを適宜実施）
- 9.27 ●日本武道館（東京都千代田区）にて安倍晋三元首相の国葬実施
- 10. 1 ●足立区制90周年を迎える
- 10. 7 ●【御宿場印プロジェクト】「東海道御宿場印めぐり」三島宿までの各宿場にて御宿場印販売開始（以降、翌春までに京都・三条大橋まで延伸）
- 10. 7 ●越谷法人会より会員増強の貢献に関する感謝状受領
- 10.16 ●地域応援イベント「六町地域応援相談プラザ開設10周年記念秋祭り」開催（投資信託相談会同時開催）
- 10.20 ●創業支援施設かがやき・かけはし・あかつき合同セミナー「損益分岐点分析をテキトーに使う〜損益分岐点を知らない人向けセミナー〜」開催
- 10.20 ●円安がさらに加速。1ドル＝151円台後半に
- 10.24 ●ニッポンメンテナンスシステム（株）から足立区社会福祉協議会へ、当金庫取引先の米店より購入した米1,000kgを寄贈（当金庫のマッチング支援による）
- 10.24 ●「地域応援！秋の日帰りバス旅行〜友好のまち鹿沼・古峯神社の紅葉狩り〜」開催（10/24・25・26・28、11/2・4の計6日間開催）
- 10.30 ●「はなはた文教マルシェ」開催（文教大学 東京あだちキャンパス）（以降、毎年開催）
- 11.11 ●当金庫創立記念日「あだちせいわSDGsフェスタ」開催（資産形成相談会同時開催）
- 12. 1 ●女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定取得（2段階評価取得）
- 12. 2 ●警視庁より防災意識普及高揚の貢献に関する感謝状受領
- 12.10 ●空き家・空き店舗利活用における創業支援「千住まちづくりファンド」第1号案件「せんつく2」オープン

2023
令和5年

- 1. 2 ●新型コロナウイルス流行から3年ぶりに皇居にて新年一般参賀実施
- 1. 6 ●足立区制90周年記念「10年後の“わたし”への手紙」企画賛同 手紙109通を足立区へ手渡しで提出
- 1. 9 ●潤徳女子高等学校 美術コース生徒のデザイン・制作による旭町支店 新シャッターアート完成
- 1.13 ●関東財務局×文教大学×足立成和信用金庫「金融リテラシー情報交換会」実施
- 1.27 ●足立区マイナンバーカード出張申請キャラバン事業協力（全3回）
- 2.15 ●本木支店 開設70周年記念「地域応援マルシェ＆お客さま感謝デー」・「健康プロジェクト＆足立区地域包括支援センター扇 出張相談会」開催
- 2.20 ●地元住民・足立区・千住警察署・千住消防署連携「災害時帰宅困難者受入訓練」（BCP訓練）実施
- 2.20 ●信金中央金庫 創立70周年記念事業「SCBふるさと応援団」における足立区への寄付金目録贈呈式を実施
- 2.21 ●上野動物園のジャイアントパンダ「シャンシャン」が中国へ返還
- 2.24 ●足立区・(株)日本政策金融公庫千住支店・当金庫の3者にて「事業承継支援に関する覚書」を締結
- 3. 5 ●花畑2丁目周辺 綾瀬川緑地「河津桜植樹記念・育樹イベント」参加（2020年2月寄付）
- 3.13 ●当金庫発案【御宿場印プロジェクト】について、内閣府より「令和4年度 地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」地方創生担当大臣表彰を拝受
- 3.20 ●足立区×(株)日本政策金融公庫千住支店×当金庫 事業承継支援覚書締結に基づく支援事業 第1弾「事業承継セミナー」開催（以降、定期的に開催）
- 3.21 ●第5回WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）にて日本優勝
- 3.30 ●東京都立足立工科高等学校（旧：足立工業高等学校）へテント寄贈
- 5. 1 ●【御宿場印プロジェクト】「甲州街道御宿場印めぐり」スタート
- 5. 8 ●新型コロナウイルスが2類から5類へ移行
- 6.15 ●“おせっかいボックス”を全店に常設し、これまでのフードドライブに加え、サニタリーポスト・こどものみらい古本募金の寄付受付を開始
- 7.18 ●足立成和信用金庫・会津信用金庫・鹿沼相互信用金庫の3金庫で連携協定締結
- 7.28 ●日銀が金融緩和策を修正し長期金利の0.5%超えを一定程度容認
- 9. 1 ●スマホ決済サービス「BankPay」・「ことら送金」取扱開始
- 9. 9 ●足立消防署より応急手当知識技術習得・普及に関する感謝状受領
- 9.23 ●潤徳女子高等学校主催「潤徳キッチンカーフェス」事業者紹介協力（〜9/24）（以降、年2回の開催時に協力）
- 10.11 ●将棋の藤井聡太棋士が初の全八冠制覇
- 10.14 ●【御宿場印プロジェクト】「奥州街道御宿場印めぐり」御宿場印販売開始
- 11.17 ●野球メジャー エンゼルスの大谷翔平選手が史上初2度目の満票でMVPを受賞
- 12.22 ●「しんきんフルーツの日」を初めて実施（以降、毎年実施）



当金庫発案【御宿場印プロジェクト】について、内閣府より「令和4年度地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」地方創生担当大臣表彰を拝受



あだちせいわ100周年カウントダウン定期預金キャンペーン

2024
令和6年

- 1. 1 ●石川・能登半島にて震度7の地震発生
- 1. 4 ●「令和6年能登半島地震 災害義援金」受付開始
- 1.11 ●「令和6年能登半島地震 緊急災害復旧支援融資」取扱開始
- 2. 1 ●「電子的決済サービス移行キャンペーン」実施（〜4/30）
- 2.17 ●JAXAがH3ロケットの打ち上げに成功
- 2.28 ●「御宿場印マルシェ2024」開催（〜2/29）
- 3. 1 ●「第2回 あだち御朱印ラリー」参加（〜9/15）（六町・北千住・西新井地域応援相談プラザ）
- 3.19 ●日銀がマイナス金利を解除
- 4.15 ●入谷支店 移転リニューアルオープン
- 5. 1 ●定期預金「KIZUNA100」販売開始（〜10/31・上限逓し次第終了）
- 5.15 ●「沖田不動産鑑定士・税理士・行政書士事務所」業務提携契約締結（相続税申告・不動産譲渡等 支援強化）
- 5.17 ●【産学連携】文教大学「ビジネス心理学実習」参加協力
- 5.17 ●神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会開催（東アジア初開催）
- 5.20 ●「第18回 東京発！物産・逸品見本市」協力（主催：西武信用金庫・東京都商工会連合会）（〜5/24）（以降、毎年協力）
- 5.22 ●北千住マルイ「日光・日光西街道フェア」協力（〜5/28）（取引先事業者出店）
- 6. 2 ●「草加宿場まつり」出展協力（主催：草加宿場まつり実行委員会）（以降、毎年協力）
- 6.14 ●中央支店新築オープン10周年記念キャンペーン実施（〜7/19）、「お客さま感謝デー（抽選会）」開催（7/19）
- 7. 3 ●日本銀行が20年ぶりに1万円、5千円、千円の新紙幣発行
- 7.16 ●弘道支店オープン40周年記念各種キャンペーン実施（〜10/11）、「お客さま感謝デー（抽選会）」開催（10/11）
- 7.26 ●第33回オリンピック競技大会（2024／パリ）開催
- 8.21 ●本木関原支店開設80周年記念「お客さま感謝デー」実施
- 9. 2 ●「ゼロカーボンアクション応援ローン」取扱開始（当初2025年3月末までの取扱予定が、好評につき4月以降も実施）
- 9.26 ●北越谷支店「こしがやSDGsパートナー」登録
- 10. 1 ●「事業性小口ローン」・「職域ローン」取扱開始
- 10. 1 ●郵便料金が30年ぶりに値上げ
- 10.31 ●草加支店「そうかSDGsパートナー」登録
- 11.18 ●「でんさいライト」取扱開始
- 11.18 ●【会津信金・鹿沼相互信金連携事業】福島県会津若松市と栃木県日光市を巡る1泊2日の地域応援旅行実施（〜11/22）
- 11.22 ●JR仙台駅「TOKYO ADACHI MARCHE」開催（〜11/25）（好評につき2025年9月にも開催）
- 12. 2 ●「千住宿」開宿400年記念 法人のお客さま限定 定期預金キャンペーン実施　（〜2025/3/31）
- 12.16 ●「相続・贈与・賃貸経営・不動産活用の個別相談会」開催（共催：積水ハウス（株））（全5回・7店舗）（以降、各営業店にて不定期開催）
- 12.18 ●「足立姫マルシェ」開催（〜12/19）

2025
令和7年

- 1.21 ●元MLBプレイヤーのイチロー氏が米野球殿堂入り決定
- 1.28 ●埼玉県八潮市で道路陥没事故発生
- 1.31 ●東栄信用金庫との連携協定締結
- 2. 3 ●e-Tax申告データ受付サービス（Zaimon）取扱開始
- 2.18 ●取引先事業者向け海外進出支援の一環として東栄信用金庫と合同でベトナム産業視察実施　　参加人数18名（〜2/22）
- 3.14 ●草加支店開設60周年記念「お客さま感謝デー」実施
- 4.13 ●大阪・関西万博が開幕
- 4.18 ●青井支店開設40周年記念「お客さま感謝デー」実施
- 4.18 ●「第44回（2024年度）信用金庫PRコンクール」にて“「千住宿」開宿400年祭”イメージポスター「おもい、わたる」が最優秀賞である全信懇会長賞を受賞
- 5.12 ●JR北千住駅南口（仲町口）改札外コンコースにて“「千住宿」開宿400年祭”イメージポスター「おもい、わたる」のポスター展開催（〜5/26）
- 5.18 ●“「千住宿」開宿400年祭”オープニングイベント開催
- 5.21 ●万博開催記念旅行「新緑の美しい京都と大阪・関西万博を巡る2泊3日の旅」実施（〜5/30）
- 6.20 ●空き家・空き店舗利活用における創業支援「千住まちづくりファンド」第2号案件「F-full」オープン
- 7. 1 ●「足立成和信用金庫100周年カウントダウン定期預金」販売（〜9/30）
- 7. 1 ●「創立100周年記念 子育て応援！定期積金キャンペーン」実施（〜9/30）
- 7. 1 ●「法人インターネットバンキング基本料無料キャンペーン」実施（〜1/30）
- 7.20 ●“「千住宿」開宿400年祭”「地口あんどんナイト」に向けた「地口絵制作体験会」開催（協力：千住いえまち、足立学園、潤徳女子高校）（全3回）
- 7.23 ●日米関税交渉合意。輸入品の相互関税が10%から15%に引上げ
- 9. 5 ●（株）日本政策金融公庫千住支店と事業再生・経営改善支援に関する「業務提携・協力に関する覚書」を締結
- 11. 1 ●“「千住宿」開宿400年祭”［本祭］開催（〜11/3）
- 11. 4 ●100周年記念定期預金「つなぐミライ100」販売（〜12/30）
- 11.11 ●創立100周年記念特設サイト開設・創立100周年記念ロゴ・キャッチコピー公開
- 12.19 ●預金量6,000億円達成

目次へ戻る

地域の皆さまと共に
豊かで暮らしやすいまちづくり

地域経済の発展と暮らしやすい社会の実現を目指し、
地元企業の支援や社会福祉事業、スポーツ振興、環境活動への参加・協賛などに
積極的に取り組んでおります。

あだちせいわのSDGs～地域社会の持続的発展に貢献するために～

2021年6月に、経営理念に基づき、地域金融機関としての活動を通じて、地域の持続的成長支援と課題解決に取り組むべく、「持続可能な地域づくりへの貢献」、「地域経済の活性化」、「地域環境への配慮」を掲げ、SDGs宣言を行っております。



SDGsとは

SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは、SustainableDevelopment Goalsの略称であり、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年を期限とする世界共通目標です。17の目標と169のターゲットから構成されています。

事業支援活動 ― 創業支援 ―

創業者経営力アップ支援事業実施

足立区との連携協定に基づき、将来の地元産業を担う起業家を育成するため、区内の創業者に対して、創業初期の経営が不安定な時期に経営支援を実施しております。



創業者同士の交流会・セミナー「創業カフェ」開開催

創業前または創業間もない方々を対象に、課題や悩みを共有したり共に成長する仲間を作る場所として、2016年に「創業カフェ」を発足し、毎年定期的に開催しております。



あだちせいわ創業者セミナー開催

創業に関する課題に着目して毎年「あだちせいわ創業者セミナー」を開催しております。本セミナーは足立区の特定創業支援等事業として認定されており、本セミナーを全て受講いただいた方は会社設立時における登録免許税の軽減措置などの特典を受けることができます。



創業支援施設「あかつき」開設

当金庫旭町支店の向かいにある支店別館の2階から5階を、創業支援施設「あかつき」として2018年1月から運用しております。これまで多くの創業者が入居し、力をつけ、巣立っていっております。



事業支援活動 ― 経営支援 ―

シグマバンクグループビジネス交流会開催

販路拡大やマッチング機会創出を目的に、業務提携を行っているシグマバンクグループ5金庫（亀有・小松川・東栄・コザ・当金庫）の主催、および連携信用金庫の協力により「シグマバンクグループビジネス交流会」を毎年開催しております。



▶ 2025年4月より、沖縄県のコザ信用金庫がシグマバンクグループの新しい仲間として加わりました。

シグマバンクグループ ビジネスマッチングサイト「Σbiz（シグマビズ）」開設

非対面でもお取引先の「売りたい・買いたい・連携したい」という要望をスピーディーに取次ぎするため、2022年6月にビジネスマッチングサイト「Σbiz（シグマビズ）」を開設いたしました。登録企業の中から自社のニーズに合った企業をいつでもWEB上で探すことができるマッチングサイトです。



「出張！よろず相談」無料実施

中小企業診断士の相談員3名と提携し、お取引先の経営におけるお悩み出張相談を無料で承っております。
ご事情に応じた課題解決施策の助言を受け、成果につなげていくことが特徴で、IT活用による生産性向上やWebマーケティング、集客・販路開拓、補助金・助成金など、専門家による的確なアドバイスが得られます。



三金庫合同 同業種交流会開催

城南信用金庫・西武信用金庫・当金庫の共催により、特定の業種を対象にした「同業種交流会」を定期的に開催しております。同じ課題を抱える企業同士、士気を高め合うことができるため、参加される皆さまにご満足いただけております。



BCP（事業継続力強化計画）セミナー開催

自然災害や感染症リスクに備えていただくため、保険会社等ご協力のもと、BCP（事業継続力強化計画）セミナーを不定期開催しております。

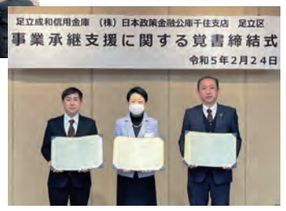


事業支援活動 ― 事業承継支援 ―



足立成和信用金庫×日本政策金融公庫 千住支店×足立区 事業承継支援に関する覚書締結

後継者不在等の事業承継問題に真正面から取り組み解決を図るため、当金庫、日本政策金融公庫千住支店および足立区の三者で、「事業承継支援に関する覚書」を2023年2月24日に締結いたしました。
本連携支援事業として、定期的に「事業承継セミナー」を開催しております。



地域経済活性化活動 ── 地元企業PR・地域応援事業 ──

舎人公園「千本桜まつり」物産展へ地元企業出店・PR応援

春に舎人公園で催される「千本桜まつり」では、地元企業をPRする物産展を開催しております。近年では連携信用金庫のお取引先事業者出店ブースコーナーも設け、にぎわいの創出や出店者同士の連携等を図っております。



あだち区民まつり「A-Festa」参加協力

荒川河川敷で毎年行われる足立区秋の風物詩「A-Festa」に特設テントのブースを設け、職員がスタンプラリーやお楽しみゲームコーナーなどを実施して、地域の方々とふれあうとともにイベントを盛り上げています。





「しょうぶまつり＆世界の食広場」出店参加

毎年6月上旬にしょうぶ沼公園および東綾瀬公園(ハト広場)にて開催される「しょうぶまつり＆世界の食広場」に、綾瀬支店職員が「あだち菓子本舗」の菓子販売および縁日で出店し、当金庫および「あだちのお菓子」のPRをしております。



地域応援イベント・地域応援マルシェ実施

営業店主導のもと、積極的に地元事業者・自治体や一般社団法人こども食堂支援協議会、また復興支援として「もったいない市場（福島県矢祭町）」等と連携を図りながら各種イベントやマルシェを企画し、地域の方々にお楽しみいただいております。



「TOKYO ADACHI MARCHE」協力



しんきん地域創生ネットワーク株式会社が足立区より受託している「足立区魅力デリバリー物産展事業」において、「TOKYO ADACHI　MARCHE」を足立区外の地域で開催しております。当金庫は、足立区およびしんきん地域創生ネットワーク株式会社と連携し、参加事業者の募集活動を行い、足立区の魅力発信のお手伝いをしております。

地域経済活性化活動 ── 産学金連携事業 ──

文教大学連携「はなはた文教マルシェ」開催

花畑地区に“東京あだちキャンパス”を開設した文教大学と、地域の町会や諸団体の方々、そして「地域応援！“おせっかい宣言”」をキャッチコピーにかかげる当金庫が協力し合い、地域との交流・活性化のためのイベント「はなはた文教マルシェ」を企画し、2022年より毎年開催しております。地元飲食店や区内モノづくり企業、地元団体の協力によるワークショップや出張販売・キッチンカーの出店、地元小学校の金管バンドや文教大学ダンス部のパフォーマンス、流し踊りの披露、大学ゼミ発表のコーナーなどの催しが目白押しのビッグイベントになっております。



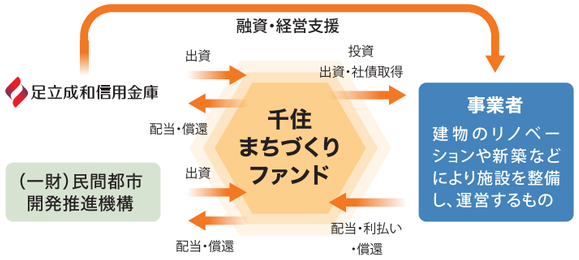
潤徳女子高等学校主催「潤徳キッチンカーフェス」協力

千住地域にある潤徳女子高等学校より、「文化祭をさらに盛り上げるべく、キッチンカーを集めたイベントを実施したい」という相談を受け、当金庫お取引先事業者にご協力いただき、2023年度より「潤徳キッチンカーフェス」を開催しております。潤徳女子高等学校文化祭の賑わい創出と、生徒やそのご家族に地元事業者を知ってもらうきっかけづくりに貢献しております。



「千住まちづくりファンド」組成

金庫創立95周年記念事業の一環として、足立区内で空き家率の最も高い北千住地域の活性化を促進することを目的に、当金庫と(一財)民間都市開発推進機構が連携して、2022年3月にマネジメント型まちづくりファンドを組成いたしました。
北千住地域での空き家・空き店舗利活用による街の賑わいを周辺地域や足立区全域へと広げていくことで、区内の諸課題解決への一助となることを目指しております。



「千住まちづくりファンド」第1号案件「せんつく2」第2号案件「F-full」オープン

本事業の第1号案件として複合施設「せんつく2(ツー)」が2022年12月に完成、第2号案件として複合施設「F-full(エッフル)」が2025年6月に完成いたしました。長い間空き家状態となっていた建物は、耐震補強を含め新たな建物に生まれ変わり、地域に活力を与えております。



▲「せんつく2」
完成披露時の様子



▲「F-full」完成披露時の様子

「お菓子のまち あだち」PR推進活動

足立区は東京都菓子工業組合に所属する都内菓子製造業者の約3割が集積している「お菓子のまち」です。当金庫は、「お菓子のまち あだち」をもっと多くの方に知ってもらうため、足立区内の菓子製造業者や足立区内の諸団体と協力し、積極的にPR推進活動を行っております。

「あだち菓子本舗（あだちつながるラボ）」発足

足立区や大学の先生の助言をいただき、当金庫が中心となって、足立区内菓子製造業者15社と共に、「あだち菓子本舗」を2017年に立ち上げました。2018年2月より、足立区内のスーパーで常設販売や週末販売、足立区内外で実施されるイベントへ出店するなど、地場産業の活性化に向け、支援を行っております。



「あだち菓子博 in アリオ西新井」開催

足立区内の菓子製造・加工事業者による製品の販売およびPRの場として、東京商工会議所足立支部、足立法人会、西新井法人会等と連携し、アリオ西新井が主催となって企画された“あだちのお菓子”を多数販売する大好評イベントで、2019年より毎年開催されております。



「あだち夢のお菓子コンテスト」実施

2020年度より、足立区在住の小学5・6年生を対象に、「こんなお菓子があったらいいな！」という“夢のお菓子”のアイデアを募集する「あだち夢のお菓子コンテスト」を毎年開催し、「お菓子のまち あだち」のPRに貢献しております。区内菓子製造業者のご協力により応募作品が審査され、入賞した作品が具現化。その具現化作品は実際に「あだち菓子博」で展示や販売がされるなど、子どもたちの夢を叶えるお手伝いをしております。

▲潤徳女子高等学校美術コースの生徒に制作いただいた「あだち夢のお菓子コンテスト」ロゴマーク



▶応募作品をもとにチョコレートで具現化されたお菓子「千住箱」

地域経済活性化活動　── 宿場町活性化事業 ──



当金庫発案「御宿場印プロジェクト」実施

当金庫営業エリア「千住」「草加」「越谷」は、江戸時代に宿場（日光街道・奥州街道・水戸街道等）として栄えた街です。金庫創立95周年記念事業の一環として、各宿場で制作された「御宿場印」を通じて、来街者が街をめぐり、街の魅力を楽しんでいただくことで地域の活性化を図る「御宿場印プロジェクト」を企画し、2021年度より「日光街道・日光西街道　御宿場印めぐり」がスタートいたしました。本プロジェクトは、各宿場町の信用金庫や観光協会等のご協力により、会津西街道、東海道、甲州街道、奥州街道、中山道と、販売地域を拡大させ、地域活性化に貢献しております。

「草加宿場まつり」出展協力

草加宿場まつり実行委員会主催による「草加宿場まつり」に出展協力し、御宿場印および当金庫のPRをいたしました。



会津信用金庫・鹿沼相互信用金庫と連携協定締結

「御宿場印プロジェクト」によってつながりのできた、会津信用金庫、鹿沼相互信用金庫および当金庫で、各信用金庫営業エリアにおける観光振興や産業振興に協力して取り組み、地域経済の発展に貢献することを目的とした「連携協定」を2023年7月18日に締結いたしました。



会津若松・日光を巡る1泊2日の地域応援旅行実施

会津信用金庫および鹿沼相互信用金庫との連携協定にかかる取組みの一環として、2024年11月に福島県会津若松市と栃木県日光市を巡る1泊2日の地域応援旅行を実施し、各地域の観光振興に貢献いたしました。



“「千住宿」開宿400年祭”実施

足立成和信用金庫発祥の地「千住」は、1625年（寛永2年）五街道の整備により、日光・奥州街道の初宿（第1番目の宿駅）に指定された“宿場町”で、2025年に開宿400年という大きな節目を迎えました。千住に本店を構える当金庫では、金庫創立100周年記念事業の一環として、東京商工会議所　足立支部と共に、2025年4月～12月にかけて、地元企業や団体の協力により千住宿開宿400年を盛り上げる“「千住宿」開宿400年祭”を実施いたしました。

▲千住宿開宿400年記念ロゴ



▲テープカットの様子



▲「浦安の舞」の様子



「雅楽」の様子▶

“「千住宿」開宿400年祭”オープニングセレモニー開催

本事業の開幕式典として、北千住駅南口(仲町口)コンコースにてオープニングセレモニーを2025年5月に開催し、足立区長をはじめ、千住のまちを支える多くの方々にご出席いただきました。テープカット後は千住の歴史継承やまちの発展を祈念して、潤徳女子高等学校有志の皆さまによる「浦安の舞」、寿・千住太鼓の皆さまによる「和太鼓」、東京楽所の皆さまによる「雅楽」を披露していただき、祭りの始まりを大いに盛り上げてくださいました。

「千住“魅力”発見マルシェ」開催

オープニングセレモニーと同日に、地元団体の皆さまによるステージパフォーマンスや銘品・物産を販売するマルシェ、ワークショップなどを開催し、賑わいの創出のお手伝いをいたしました。



▲銘品・物産販売ブースの様子



▲ステージパフォーマンスの様子



▲ワークショップの様子

「千住宿」開宿400年祭（本祭）

本事業のメインイベント［本祭］として、下記4つのイベントを2025年11月に開催いたしました。

①プロジェクションマッピング

千住にもキャンパスがある東京藝術大学の協力で、千住にまつわる人物や風景を織り交ぜた映像を制作していただき、当金庫本店本部ビルの壁面に投影いたしました。



◀プロジェクションマッピングと地口あんどんナイトの様子

②地口あんどんナイト

足立区内の小学生や高校生らが作った約300個の「地口あんどん」を、千住神社など計5か所に設置し、千住の夜を明るく優しく照らしました。



▲地口絵制作体験会の様子

③千住楽市

江戸五街道各宿の銘菓や千住にゆかりのある企業・団体による食品等の販売、体験型ワークショップやステージパフォーマンス披露などを、「千住楽市」として千住の寺社など全9か所で実施いたしました。

▼南京玉すだれパフォーマンス



④千住街巡り日光街道「御宿場印」スタンプラリー

千住楽市の開催場所を含めた全11か所を巡りながら「日光街道　御宿場印めぐり」スタンプを集めた方に、千住宿開宿400年記念グッズをプレゼントいたしました。



▲千住街巡り日光街道「御宿場印」スタンプラリーチェックポイントの様子

「“おもい、わたる”ポスター」制作

千住を含め足立区の方々にご協力をいただき、“「千住宿」開宿400年祭”の機運向上を目的としたイメージポスター“おもい、わたる”を全20種制作いたしました。本ポスターは、第44回信用金庫PRコンクールにおいて、最優秀賞である「全信懇会長賞」を受賞いたしました。



制作：写真柳下　　書：なすご龍芳
協力：路地裏寺子屋rojicoya、潤徳女子高等学校、
文教大学、東京未来大学

「千住“魅力”満喫スタンプラリー」実施

「千住」で “食べて” “買って” “巡って” 楽しむデジタルスタンプラリーを、3か月ごとに期間を分けて、2025年4～12月に開催いたしました。スタンプを集めた方に「千住」にちなんだ豪華賞品や千住宿開宿400年記念グッズ等をプレゼントいたしました。



文化福祉活動

“おせっかいボックス”全店設置によるフードドライブ活動等の実施

2023年6月15日（信用金庫の日）より“おせっかいボックス”を全店に設置し、下記3つの寄付を常時受け付ける“おせっかい”な活動を行っております。





①未利用食品を集め、こども食堂等に寄付する**「フードドライブ」**
②古本を集め、回収した古本の買取査定額を内閣府やこども家庭庁が連携して行っている「こどもの未来応援基金」に寄付する**「こどものみらい古本募金」**
③新品未開封の生理用品を集め、足立区NPO活動支援センター等を通して必要とされている方に寄付する**「サニタリーポスト」**

「しんきんフルーツの日」参加

「SDGsの一環として、地域の子どもたちに栄養価の高い“季節のフルーツ”を提供し、子どもたちを笑顔にしていく」ことを目的として、都内信用金庫で2022年より実施している「しんきんフルーツの日」の取組みに賛同し、子ども食堂およびフードパントリー運営団体62団体を取りまとめている足立区NPO活動支援センターを通じて、足立区の子ども食堂に対して、地元の青果店で購入した“季節のフルーツ”を毎年寄贈しております。



献血運動協力

毎年、東京都赤十字血液センターとの連携による献血運動を実施し、職員をはじめ、来店したお客さまからもご協力をいただいております。



認知症サポーター養成講座受講

金庫創立90周年の社会貢献事業として、2016年に認知症サポーターの養成を開始いたしました。全役職員が認知症の方への接し方など基本姿勢を学び、認知症サポーター養成講座受講の証であるオレンジリングを身に着けております。

普通救命講習実施

各プラザを含む全店舗に設置のAED（自動体外式除細動器）を人命救助で効果的に使用できるよう、足立区内消防署ご協力のもと、当金庫の全職員を対象に「普通救命講習」を定期的に実施し、多くの職員が普通救命技能認定を取得しております。



交通安全運動協力

交通事故のないまちづくりを願い、毎年、春と秋の交通安全運動に、足立区内の営業店が協力しております。



職業体験・インターンシップ受入れ

金融リテラシー向上と就活準備のサポートとして、各営業店や本部にて学生を受け入れ、職業体験・インターンシップを実施しております。





地域交流の場「YUIテラス」オープン

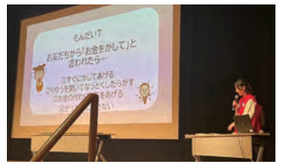


創立100周年記念事業の一環として、地域の皆さまが気軽に集い交流できるよう、モルックやボッチャなど世代を問わず楽しめるスポーツができる多目的スペース「YUIテラス」を、2025年12月、皿沼支店の隣地にオープンいたしました。地域住民や地域団体の皆さまへ貸し出すことで、地域の賑わい創出と活性化を目指しております。

「こどもおしごとらんど」協力

ギャラクシティ等で定期的に開催されている、子どもたちが自立して生き抜く力を育むことを目指す地域連携プログラム「こどもおしごとらんど」に毎年出展協力し、「お金の大切さ」を知っていただくお手伝いをしております。





「あだちサンタウォーク」協賛

世界各地で行われているチャリティイベント「サンタウォーク」が、2017年より北千住でも毎年開催されており、当金庫は毎年協賛と協力をしております。収益金は足立社会福祉法人連絡会主催の子ども食堂へ寄付されます。

「足立フレンドリーマラソン大会」・「足立区スポーツ大会駅伝競走大会」協賛

足立フレンドリーマラソン大会や足立区スポーツ大会駅伝競走大会に毎年協賛し、地域のスポーツ振興に貢献しております。





防災意識向上への取組み

足立区との協定

2016年に足立区と締結した「災害時における応急対策活動に対する支援に関する協定」において、大規模災害発生時に足立区民への生活関連物資の提供、復旧対策等に必要な物資および機材等の優先提供、被災した近隣住民および帰宅困難者等の受入に協力することを定めております。

支店敷地内にスタンドパイプ設置

足立区内の支店敷地内に、住民の方が活用できる初期消火に有効な消火資器材「スタンドパイプ」を、2018年12月より設置しております。



防火訓練等の実施

足立区や地元消防署、自治会の協力のもと、スタンドパイプ使用訓練や避難誘導訓練等を定期的に実施しております。



足立区へ地震体験車「震太くん」寄贈

創立90周年記念事業の一環として、足立区の皆さまへ当金庫から感謝の気持ちを表すべく、地震体験車「震太くん」を足立区へ寄贈いたしました。



環境活動

全店統一 店舗周辺清掃ボランティア活動（足立区ごみゼロ地域清掃活動）の実施

毎年、信用金庫の日（6月15日）と当金庫の創立記念日（11月11日）に、全店一斉での店舗周辺清掃活動を実施しております。





エコキャップ回収運動

NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会を通じてエコキャップ回収運動に参加しており、ペットボトルのキャップを回収しリサイクルを行うことで、発展途上国の子どもが接種するポリオワクチンの寄付とCO_2削減に協力しています。



使用済み食用油の再資源化協力

本店本部ビルの使用済み食用油について、業者を通じて環境にやさしいバイオディーゼル燃料として再資源化しております。各種イベントにおいても、地域の方に使用済み食用油再資源化の周知活動を行っております。



クールビズおよびノーネクタイ・ノーリボン運動

地球温暖化の原因とされる温室効果ガス削減および節電対策の一環として、上着不要・ポロシャツ着用可とした「クールビズ」および「ノーネクタイ・ノーリボン運動」を実施しております。





本店ロビーに「R-LOOP」回収ボックス設置

金融機関初!

2025年6月より、本店ロビーにブックオフとBPLabが共同企画・運営している「R-LOOP」の回収ボックスを設置し、不要になった衣服や雑貨の回収を行っております。回収された衣服や雑貨はブックオフが運営する海外店舗を通じてリユースされ、リユースが難しいものについても繊維リサイクルなどにより100%の再資源化が図られます。なお、金融機関における「R-LOOP」の設置は国内初の事例となります。



本店本部ビルにおける電力を再生可能エネルギーに切替

本形式による切替は信用金庫初!

2025年4月より、本店本部ビルにおいて再生可能エネルギー100%の電力（以下、再エネ電力）を使用しております。本件は、当金庫と包括連携を締結している足立区より、「再生可能エネルギー電力の利用促進に関する連携協定」を足立区と締結している株式会社エナーバンクをご紹介いただき、リバースオークション形式で再エネ電力への切替を行いました。なお、リバースオークションにより再エネ電力に切り替えた事例は、全国の信用金庫で初めての事例となります。当金庫では脱炭素社会の実現に向け、今後も支店の電力を再エネ電力に順次切り替えていく予定です。



環境に配慮した店舗開設、設備の導入

店舗新築に際し、複層ガラスやトップライト、LED照明の採用など、環境に配慮した設備を取り入れております。なお、一部店舗においては太陽光発電システムや屋上緑化などを導入しております。また、営業用バイクに代えて、電動アシスト付自転車を活用しております。さらに、社用車の一部にハイブリットカーや電動バイクを導入しており、2025年3月からは電気自動車も導入し、活用しております。



会員組織活動

ニコニコクラブ（年金友の会）

当金庫で年金を受給されているお客さまの会として、1989年9月に発足しました。会員の皆さま限定の定期預金や融資、傷害保険等の商品、お誕生日プレゼントなどをご用意しております。また、親睦旅行や観劇会、寄席等を定期的に開催し、会員の皆さまの豊かな暮らしのお手伝いをさせていただいております。



▶ニコニコクラブ会員限定お誕生日プレゼント引換券付きハガキ



▲ニコニコ寄席の様子

「あだちせいわ経営塾」・「MachiLab+（マチラボ）」

創立80周年を機に、2006年9月に発足した、次世代を担う若手経営者・後継者のお客さまを中心とした組織です。
経営塾では年に数回、総合的なマネジメントを学ぶ勉強会や、経営の基本を学ぶ実践研修会などを実施。会員の方々が経営学を体系的に学ぶ機会を提供するとともに、会員同士の交流の場としても活用いただいております。
さらに経営相談を含めたアドバイス体制も充実させて、会員の方々をバックアップしております。



▲経営塾の講師が、各チームで作成したペーパータワーを参考にチームワークやPDCAサイクルの重要性を解説する様子



▲MachiLab+日帰り視察ツアーの様子

また、2013年5月には、塾の卒業生で構成する次世代経営者の会として、「あだちせいわネクスト倶楽部」を発足。経営塾で培った会員同士の交流をさらに深め、事業の連携や促進を図るための講演会や勉強会、異業種交流会などを開催しております。
なお、金庫創立100周年を機に、さらなる地域発展・活性化および豊かさ・幸せ（ウェルビーイング）を目指すため、「あだちせいわネクスト倶楽部」を**「MachiLab+（マチラボ）」に一新**いたしました。当金庫および会員の方々の交流をさらに深め、地域発展を担う次世代の育成を強化してまいります。

21世紀セミナー足立懇話会

創立80周年を機に、お取引先の経営者の皆さまを対象として会員相互の情報交換や交流促進のため、（株）時事通信社との共同運営で「21世紀セミナー足立懇話会」を、2006年10月に組成いたしました。
講演会と懇談会を年に4回開催。講演には毎回、政界や経済界、スポーツ界などから一流講師をお招きし、貴重なお話をうかがうとともに、その後の懇談会でも講師の方と歓談する場を設けています。さらに懇談会では当金庫からも役員・職員が参加して、会員の方々と交流を深めております。
同業者や異業種企業の方々などとの交流の場ともなり、会員の皆さまにビジネスチャンスを広げる機会としても活用していただいております。



目次へ戻る

～ 想いを未来へつなぐ ～

あだちせいわ 職員アンケート

創立100周年記念

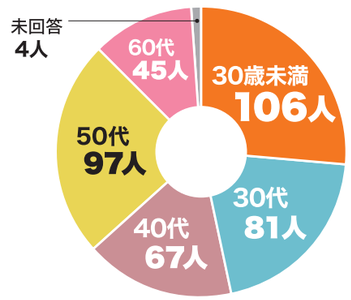


創立100周年を記念して、職員の“今（リアル）”や“未来への想い”を知るために、
あだちせいわで働く職員にアンケート調査を実施いたしました。
ご回答いただいた400名の皆さま、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

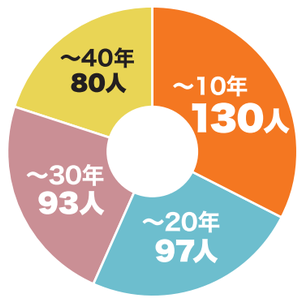
実施期間 2025年7月28日～2025年9月5日

アンケートにご協力いただいた400名

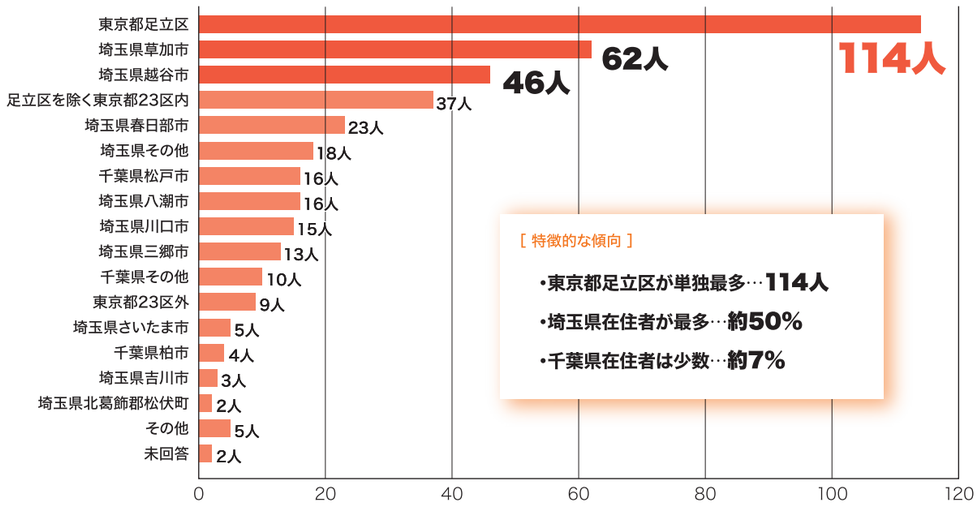
Q.1 今、何歳ですか？



Q.2 勤続年数は何年ですか？



Q.3 どこに住んでいますか？



［ 特徴的な傾向 ］

- 東京都足立区が単独最多…**114人**
- 埼玉県在住者が最多…**約50%**
- 千葉県在住者は少数…**約7%**

仕事について

Q.1 入庫した理由は？（複数回答）

現実的な理由が多いなか、「誰かの役に立つ仕事がしたかった」「足立区が地元だった」という地元密着の「足立成和らしさ」あふれる回答も多くありました。

土日がお休みだから	220人
誰かの役に立つ仕事がしたかった	139人
足立区が地元だった	101人
経営が安定している	64人
家族や友人、学校などからの勧め、紹介	20人
給料が魅力的だった	17人
転居を伴う転勤がない	15人
最初に内定をいただいた	7人
家から近い	6人
金融業界に興味があった	5人
地域密着、地域貢献に力を入れているのが魅力的	5人
人と話す仕事がしたかった	4人

Q.2 入庫してよかったことは？（複数回答）

「頼りにされ、感謝された」時に入庫して良かったと感じる声が多く、職員やお客さまと良好な関係を築けているようです。

お客さまや職場内で頼りにされ、感謝された	158人
仕事にやり甲斐や達成感がある	149人
尊敬できる上司や同僚に出逢えた	128人
プライベートが充実している	91人
人間的に成長、キャリアアップができた	72人
恋人（配偶者）や同期（友人）に出逢えた	8人
休暇を取得しやすく、給与も安定している	8人
お客さま、職員問わず人とのつながりができた	7人
引っ越しを伴う転勤がなく、通勤に便利	2人
30年近く（または定年まで）長く働けた	2人

Q.3 足立成和信用金庫の魅力は？（複数回答）

半数以上が「お客さまとの距離が近く、親近感がある」と答えていることこそが、地元密着の「足立成和らしさ」と言えるのではないでしょうか。

お客さまとの距離が近く、親近感がある	249人
職員同士の仲が良く、上司と部下の壁がない	105人
仕事のミスもみんなでカバーしあえる	99人
学校等と連携してさまざまなイベントを行うなど良い意味で金融機関らしくない	98人
仕事・プライベート関係なく、相談しやすい	48人
狭域高密度で地域貢献に力を入れている	10人

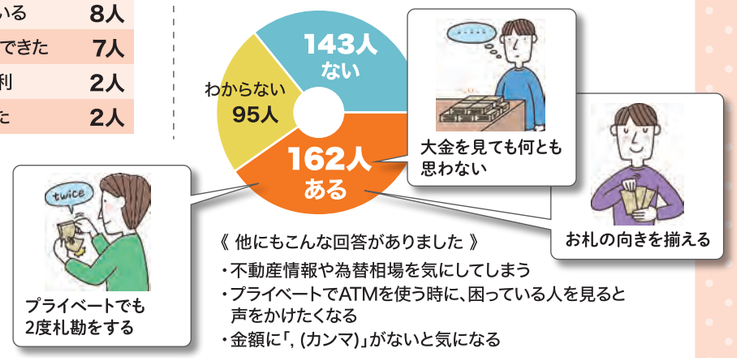
Q.4 仕事をする上で大切にしているのは？（複数回答）

地域の皆さまや仕事仲間とのつながりを大事にしてきたからこそ、足立成和は100年もの歴史を紡いでこられたのかもしれません。

お客さまや取引先からの信頼・感謝・親しみやすさ	269人
仕事仲間との協調性や思いやり	220人
好印象を与える笑顔	126人
仕事への集中力や正確性	114人
思い立ったら動く積極性・チャレンジ力	80人
へこたれないだけの体力や精神力、根気	74人
効率化や時間管理をする	5人
体調管理をすること	2人

Q.5 これって職業病と思うことはある？

信用金庫人らしい回答が多数寄せられました！



《 他にもこんな回答がありました 》

- 不動産情報や為替相場を気にしてしまう
- プライベートでATMを使う時に、困っている人を見ると声をかけたくなる
- 金額に「, (カンマ)」がないと気になる

営業エリアについて

多くの店舗がある足立区をはじめとした営業エリアについて聞いてみました。



Q.1 足立区の魅力はなんですか？（複数回答）

アンケート回答者が400人なのに、総回答数は610。足立区の
魅力はとてもひと言では語れないということが分かりました。



千本桜まつりや花火などの人気イベントがある	234人
商店街が賑わっていて親しみやすい	166人
自然豊かな公園や河川敷があり子育てしやすい	84人
銭湯が多くあり気軽に温泉やサウナで癒される	35人
都会過ぎず田舎過ぎず、親しみやすい	29人
物価や家賃が安く、交通の便もよく住みやすい	26人
市場が2つあり、新鮮な魚介・野菜などが手に入る	23人
今昔入り混じった街並み	10人
大学キャンパスが多い	3人

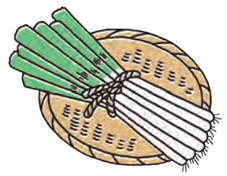


Q.2 足立区名物といえば？

イベントや場所、料理やお菓子などが続々とあがり、
足立区ならではの多彩な魅力がよく分かります。



舎人公園 千本桜まつり	槍かけだんご
足立の花火	6つの大学がある
あだち菜（小松菜）・あだち菜うどん	おいしい学校給食
千寿ねぎ	足立市場・北足立市場
文化フライ	西新井大師
下町風情、下町情緒	喜田家の江戸太鼓
千住大橋	荒川土手の五色桜
あだちブルワリー	清水屋の草団子
桑袋ビオトープ	ランドセル等の革製品
荒川の土手	島田屋製菓のバームクーヘン
タコ公園	北千住の飲み屋横丁
足立フレンドリーマラソン	銭湯
活気のある商店街	マルイシ増英の千住揚
高度な技術を持つ町工場	きそば柏屋の地獄そば
食パンかりんとう	伊勢屋の豆大福

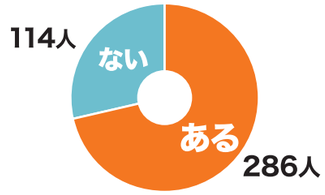




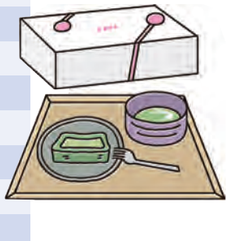


Q.3 営業エリアでおすすめの店はある？

7割以上が「ある」と答えたとおり、おすすめのお店、
おすすめポイントがより具体的に紹介されていました。
ここに載せたお店はごくごく一部です。



「洋惣菜 亀洋」(中川) イカスミパエリアがおいしい
旭町支店近くの「kiki北千住」抹茶のテリーヌがおいしい
「とりすゑ」(草加) 鳥料理が絶品
「麺 壱蔵」(南花畑) 味噌ラーメンが濃厚で美味しい
本木支店近くの「ときわ堂」コッペパンがおいしい
「たぬき」(加賀) おいしいお好み焼きが食べられる
「八十郎商店」(綾瀬) スペインバルのおいしいお店
「クレープのおうち」(青井) のりバタークレープがおいしい
「だんごの美好」(北千住) 大きくておいしい
八百屋「スワヤ」(関原) 野菜がすごく安い





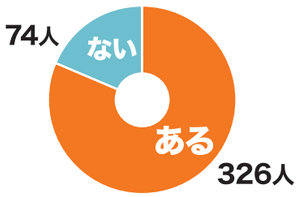
※こちらの掲載情報は
アンケート実施（2025年9月）時点での情報です。





Q.4 営業エリア内で自分がリラックスできる場所はある？

銭湯・サウナ・公園・自然という回答が多数。
日暮里・舎人ライナーの先頭車両というユニークな回答も。











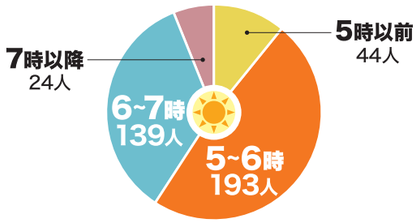
大谷田温泉 明神の湯	草加健康センター	六町ミュージアム・フローラ
堀田湯	都市農業公園	柳原千草園
曙湯	元渕江公園	千住大橋
若松湯	舎人公園	足立区立中央図書館
大平湯	桑袋ビオトープ公園	北千住マルイとルミネ北千住
竜泉寺の湯 草加谷塚店	西新井大師	アリオ西新井
明美湯	荒川土手	日暮里・舎人ライナーの先頭車両
THE SPA 西新井の「大師の湯」	関原の森	支店近くの商店街
タカラ湯	支店近くの八幡神社	

プライベートについて

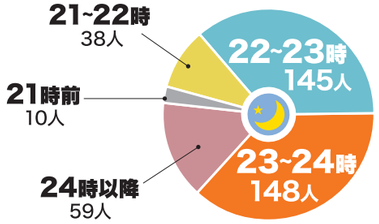
Q.1 起床時間と就寝時間は何時ですか？

7時以降に起きて始業に間に合う職員や、24時以降に寝ている職員もいることに驚きました。
余裕を持って安全に通勤できるよう心掛けましょう。

［朝・起床時間］



［夜・就寝時間］

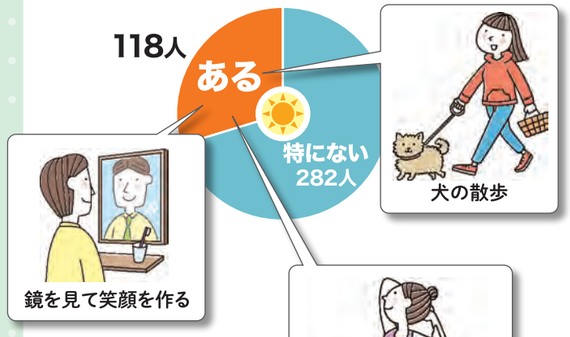


Q.2 モーニングルーティンとナイトルーティンはありますか？

意外とルーティンのある人は少なかったですが、その内容は実に人それぞれで、
その人の性格やこだわりが垣間見える回答結果となりました。



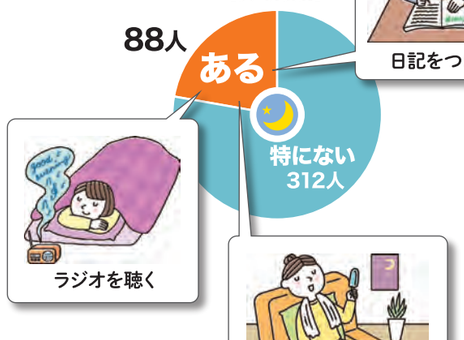
［朝・起床後］



血圧を測る
音楽を聴きながらメイク
散歩やウォーキング
ボーっとする
米国市場と株価チェック
30分間息を切らすほどの激しい運動
体重計に乗ること
15〜20分必ず本を読む
仏壇に水と線香を供える
高音の声を出す
窓を開けて太陽の日を浴びる
アニメを見る



［夜・就寝前］

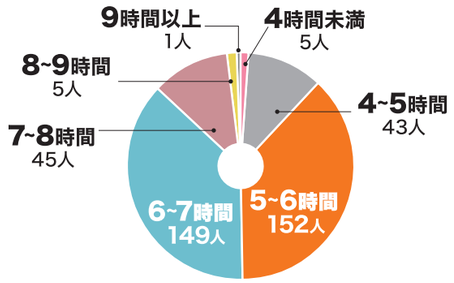


音楽を聴く
子どもの画像・動画を見る
勉強をする
部屋を暗くして休憩する
1日の反省をする
ビタミンサプリを飲む
筋トレや体操、ストレッチをする
ゆっくり湯船に浸かる
テーブルを磨く
子どもに大好きと言う
次の日の昼食で何を食べるか考える
英語の勉強をする



Q.3 平均睡眠時間は？

厚生労働省は最低6時間以上を推奨していますが、
半数の200人が6時間以下。質の良い睡眠をとって
健康に努めましょう。



Q.4 リフレッシュ法は何ですか？

「食べる・飲む」「趣味」「スポーツ」「旅行」など、
一般的な回答が多い結果となりました。これからも
リフレッシュして心穏やかに過ごしましょう。

美味しいものを食べる・買い物をする	195人
趣味に取り組む	139人
寝る	113人
お酒を飲む	99人
スポーツや運動・スポーツ観戦	79人
旅行やドライブをする	76人
一人になる・瞑想をする	58人
家族や友人とおしゃべりする	13人
銭湯・温泉・サウナ	4人
掃除・庭の手入れ	3人
洗車	2人

Q.5 何かチャレンジしていることは？

何かにチャレンジしている職員が374人もいました。
真剣に取り組む人はかっこいいですよね。

趣味	121人
スポーツ・運動・ダイエット	109人
自己研鑽（資格取得・読書・オンライン学習）	77人
家事・育児・料理	64人
部屋の模様替え	1人
最強になること	1人
ものまね	1人

Q.6 自分ならではのスキル・アピールポイントは？

スキルやアピールポイントは、特に人それぞれな
回答が多く、ここに載せたものはごく一部。自分の
強みをさらに増やしていきたいですね。

いつも笑顔・愛嬌がある・人当たりがいい	44人
コミュニケーション能力・協調性・聞き上手	43人
最後まであきらめない・根性・努力・責任感	37人
健康・体が強い（体調不良で休むことがない）	27人
真面目・几帳面・誠実・丁寧	21人
何事にもポジティブ	13人
覚えが早い・記憶力がいい	9人
資格やスキルをもっている	7人
向上心がある	5人
フットワークの軽さ	3人

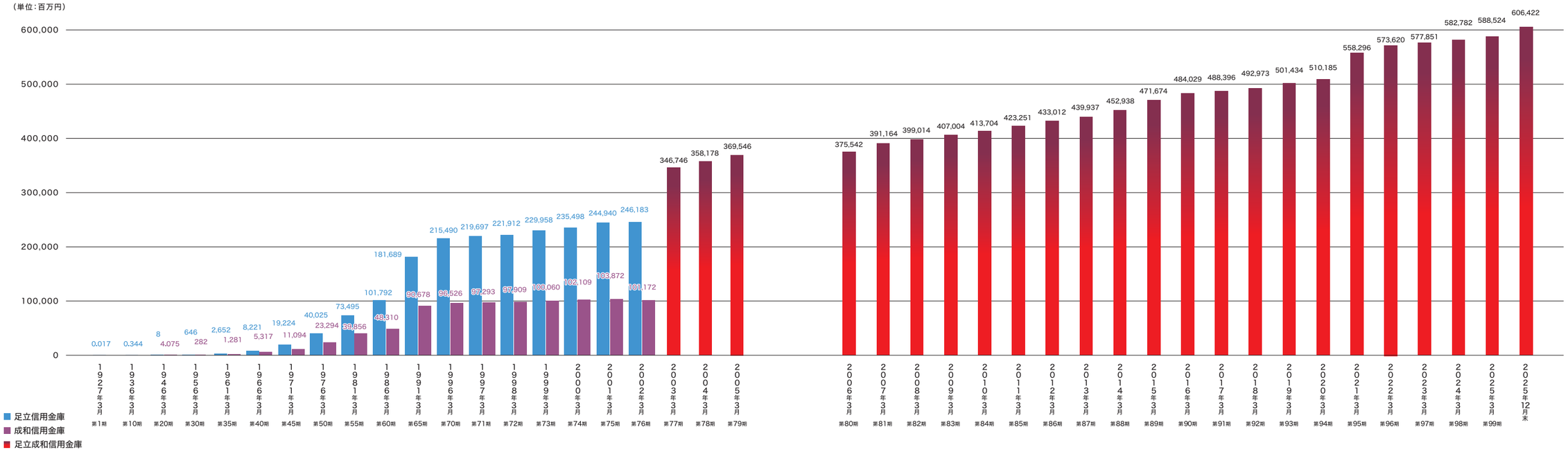
Q.7 将来の夢・目指していることは？

金融機関を選んで就職しただけあって、堅実で、
頑張れば実現できそうな夢が多いです。皆さんの
夢がいつか叶いますように！

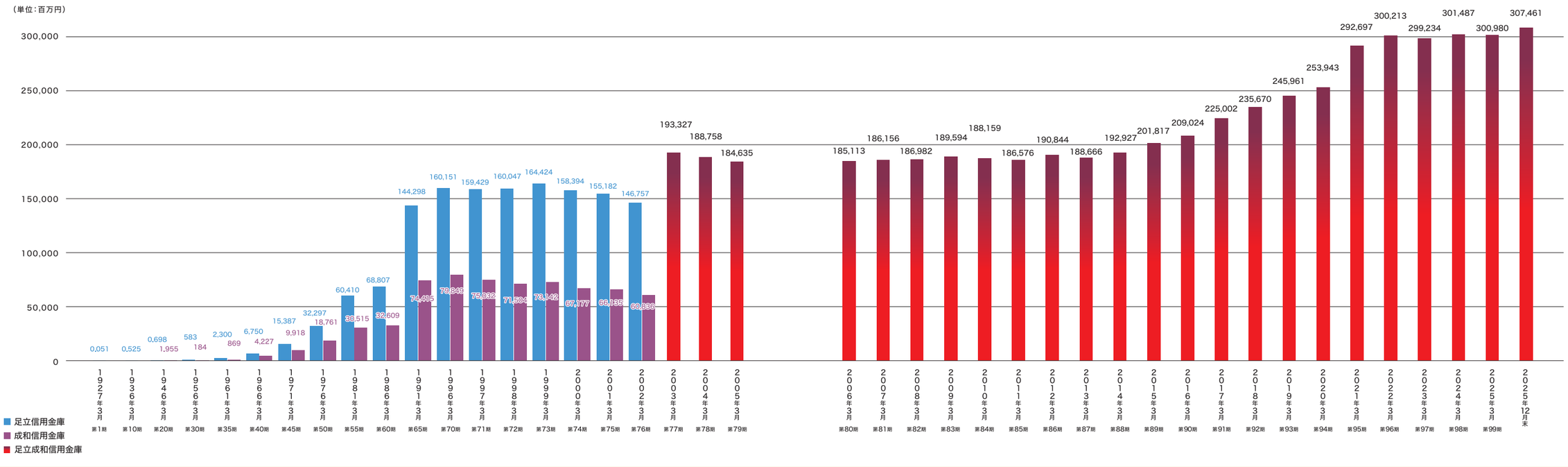
お金に困らず充実した毎日とゆとりある老後を楽しみたい	69人
健康でいたい	41人
旅行（日本一周・世界一周）	40人
子どもを立派に育て上げる・家族の幸せ	37人
キャリアアップ・資格取得	25人
企業・金融以外で働く	21人
人から頼られる・人の役に立つ・尊敬される	19人
田舎で暮らす・移住・一人暮らし・孫と住む	13人
マンションや一軒家を購入したい	8人
結婚したい	3人
探している最中	3人
某有名テーマパークに何回も行く	2人
宝くじに当選する	2人

目次へ戻る

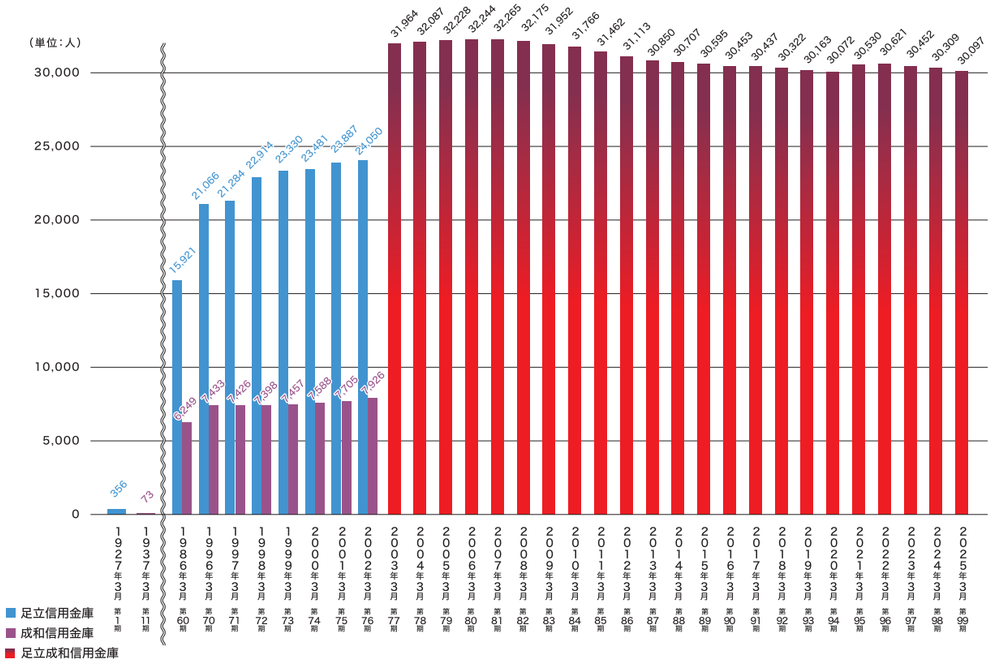
預金・積金の推移



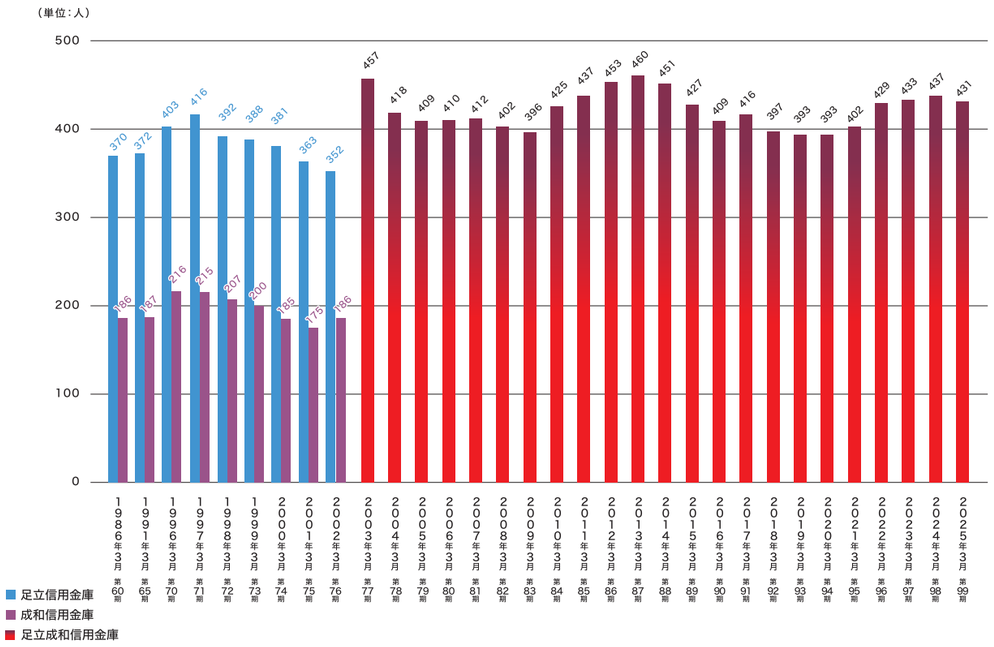
貸出金の推移



会員数の推移



職員数の推移



金庫概要

概　要

創　　立：1926年（大正15年）11月11日

本店・本部所在地：〒120-0034 東京都足立区千住1丁目4番16号

純　資　産：190億61百万円

出　資　金：21億37百万円

店　舗　数：23店舗／プラザ3か所

会　員　数：30,097先

役 職 員 数：431人

営業地域

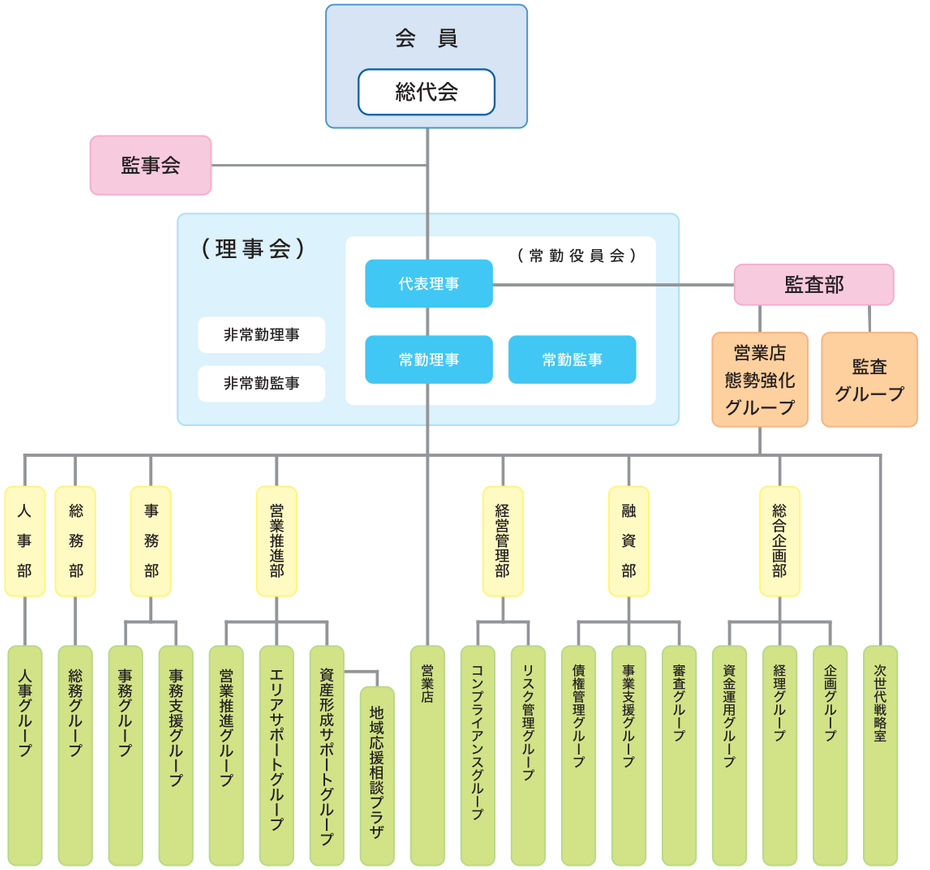
東 京 都：23区

埼 玉 県：草加市／八潮市／三郷市／川口市／越谷市／
春日部市／吉川市／さいたま市岩槻区／
北葛飾郡松伏町

千 葉 県：松戸市

（2025年3月31日 現在）

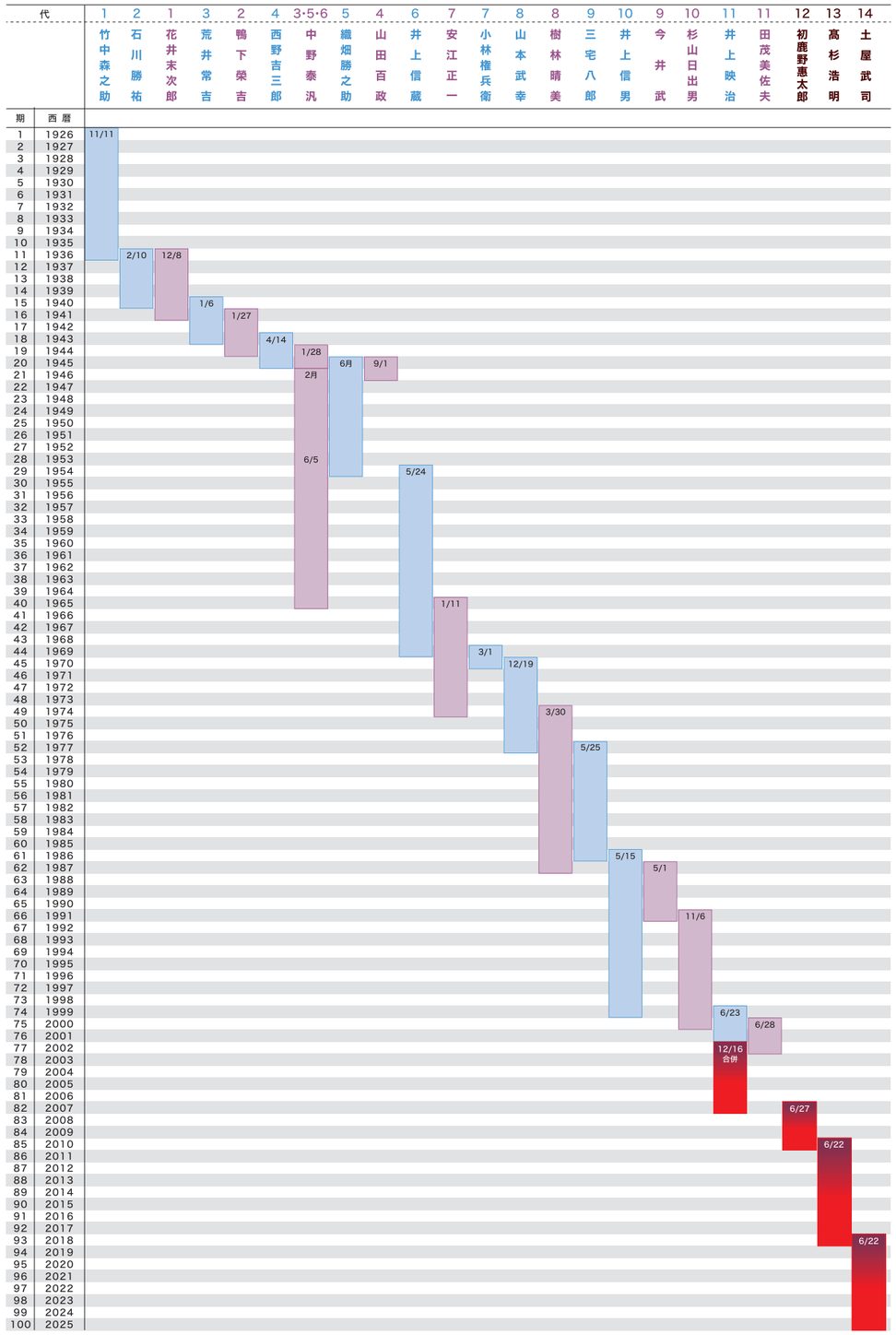
組織図



（2025年12月31日 現在）

歴代理事長年表

■ 足立信用金庫　■ 成和信用金庫　■ 足立成和信用金庫　※日付は就任日を示しています。



総代会

総代会制度

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。従って、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することになります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、全員出席による総会の開催は事実上不可能です。そこで、会員の意見を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任などの重要事項を決議する最高意思決定機関です。従って、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

総代の任期、定数

総代の任期は2年で、定年は80歳です。
総代の定数は90人以上120人以内で、地区を6区の選任区域に分け、会員数に応じて各選任区域ごとに定めます。

総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の意見を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで、総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て行われております。

- 総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- 選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- 選考された総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

総代氏名一覧

敬称略、選任順（同年は五十音順）

選任区域	氏名	区域名
第1区 18名	鈴木公夫⑱　宇田川智彦⑭　近藤俊彦⑭　黒川和彦⑬ 栗田博子⑪　伊奈政昭⑨　多氣勝治⑨　田中光義⑨ 豊住いずみ⑨　林勇次郎⑨　吉田正行⑨　渡邊喜一郎⑨ 熊倉幹雄⑦　佐々木孝二⑤　山﨑臣男③　嶋田久栄② 近藤勝①　田中章一①	足立区千住1丁目～5丁目・千住仲町・千住河原町・千住橋戸町・千住大川町・千住元町・千住柳町・千住寿町・千住桜木1丁目～2丁目・千住龍田町・千住中居町・千住宮元町・千住緑町1丁目～3丁目・千住旭町・千住東1丁目～2丁目・千住関屋町・千住曙町・日ノ出町・柳原1丁目～2丁目・葛飾区を除く足立区外の区
第2区 25名	武居正幸⑮　堀口宗弘⑮　関谷芳久⑬　小宮光雄⑫ 平野佳輝⑫　安江文博⑫　鴨下裕彦⑨　熊倉武男⑧ 伊藤重義⑦　岩﨑浩⑦　髙橋徳行⑦　平田光男⑦ 冨山彰⑥　青山幸弘⑤　橋本あけみ⑤　小田嶋保男③ 影山幸一郎③　坂本房司③　田賀俊行③　上野秀一② 神山修二②　中村光輝②　船木佳昭②　嵯峨野博之① 箕輪功①	足立区梅島1丁目～3丁目・梅田1丁目～8丁目・西新井栄町1丁目～3丁目・西新井本町1丁目～5丁目・関原1丁目～3丁目・興野1丁目～2丁目・本木1丁目～2丁目・本木東町・本木南町・本木北町・本木西町・扇1丁目～3丁目・江北1丁目～5丁目・小台1丁目～2丁目・宮城1丁目～2丁目・新田1丁目～3丁目・堀之内1丁目～2丁目・中央本町1丁目～5丁目・足立1丁目～4丁目・青井1丁目～6丁目・弘道1丁目～2丁目・西綾瀬1丁目～4丁目
第3区 14名	駒場正紀⑮　染谷正光⑫　見付春雄⑪　佐藤則雄⑦ 谷口勝彦⑦　山﨑勝⑦　小久保隆④　菊地聡③ 橋本光雄③　森山眞二③　岩井菊之②　萩原賢一② 仙波君予①　三浦啓行①	足立区綾瀬1丁目～7丁目・東綾瀬1丁目～3丁目・東和1丁目～5丁目・中川1丁目～5丁目・加平1丁目～3丁目・神明南1丁目～2丁目・神明1丁目～3丁目・谷中1丁目～5丁目・大谷田1丁目～5丁目・佐野1丁目～2丁目・辰沼1丁目～2丁目・六木1丁目～4丁目・北加平町・葛飾区
第4区 14名	石井敏雄⑬　大橋一男⑪　坂田重秋⑪　濵中厚生⑩ 阿部千代太郎⑧　菅野久子⑧　木島一⑥　森屋晴夫⑥ 北爪初江⑤　松崎光正④　礒野恒夫③　宮田秀幸③ 正岡美貴代②	足立区島根1丁目～4丁目・六月1丁目～3丁目・竹の塚1丁目～7丁目・西保木間1丁目～4丁目・栗原1丁目～2丁目・平野1丁目～3丁目・一ツ家1丁目～4丁目・西加平1丁目～2丁目・東六月町・保塚町・六町1丁目～4丁目・保木間1丁目～5丁目・東保木間1丁目～2丁目・花畑1丁目～8丁目・南花畑1丁目～5丁目
第5区 17名	山口章⑫　菅原孝夫⑪　山田有子⑩　岩壁秀夫⑨ 尾崎泰裕⑨　鏑木行雄⑨　吉澤一公⑧　小宮豊⑦ 齋藤金蔵⑥　馬場勝則⑥　小金井堅治⑤　古渡秀雄⑤ 丸山勇⑤　夏目昌彦③　石井朝德②　岩崎和浩② 関根とし江②	足立区西竹の塚1丁目～2丁目・栗原3丁目～4丁目・西新井1丁目～7丁目・谷在家1丁目～3丁目・椿1丁目～2丁目・鹿浜1丁目～8丁目・加賀1丁目～2丁目・皿沼1丁目～3丁目・伊興1丁目～5丁目・伊興本町1丁目～2丁目・入谷1丁目～9丁目・江北6丁目～7丁目・古千谷1丁目～2丁目・古千谷本町1丁目～4丁目・舎人1丁目～6丁目・舎人町・入谷町・西伊興1丁目～4丁目・西伊興町・東伊興町1丁目～4丁目・舎人公園
第6区 13名	菊池義明⑫　石川正一⑪　平垣けい子⑪　塩見浩幸⑤ 安部功③　風口末子③　沼田勇③　長谷部健一③ 山内康裕②　神山利修②　小島直樹②　吉田眞一郎② 服部良夫①	埼玉県草加市・越谷市・川口市・八潮市・三郷市・春日部市・さいたま市岩槻区・吉川市・北葛飾郡松伏町・千葉県松戸市

氏名の掲載につきましては、総代の皆さまの同意・了承を得て掲載しております。　氏名の後の数字は総代の就任回数です。　（2025年3月31日 現在）

目次へ戻る

役職員紹介
（2025年12月31日 現在）

■ 役員



常勤監事
加藤 定雄

常勤理事
森田 善信

常勤理事
本村　昭

常勤監事
行木 寿夫

常勤理事
岡田 静雄

専務理事
木村 泰治

理事長
土屋 武司

常務理事
白幡　剛

常勤理事
山口 和男



非常勤理事
伊藤　茂

非常勤理事
髙杉 浩明

非常勤理事
村田 和子

非常勤監事
酒井 正美

目次へ戻る

クラブ活動・ワークライフバランスの取組み

スポーツでリフレッシュ&コミュニケーションUP

野球部、サッカー部、テニス部、室内の運動を楽しむインドアスポーツ部、釣り部が活動しています。スポーツや共通の趣味でストレス発散するとともに、アンオフィシャルな繋がりで、普段は違う職場にいる職員同士のコミュニケーションを深めています。

サッカー部



2014年4月に若手職員の要望で創部され、20代から50代と幅広い年代が在籍しています。女子マネージャーを含めてフットサル大会にも参加するなど、精力的な練習・試合を通じて親睦を深めています。

野球部



1953年に創部され、60年以上の伝統を誇ります。練習は3月から9月の毎週土曜日、近隣のグラウンド等で行っています。年齢や役職、経験に関係なく、一丸で戦うチームワークが部のモットーです。

テニス部



1982年に創部され、4月から9月まで、土曜日に近隣のテニスコートで練習しています。世代を超えたダブルスペアでの大会出場や、他金庫のテニス部との交流などを通じ、職場と異なる人間関係を築いています。

インドアスポーツ部



2022年4月に若手職員の要望で創部されました。20代から50代と幅広い年代の部員が在籍しており、月に1回、土曜日の午前中に足立区内の大学体育館を借りて活動しています。

ワークライフバランスの取組み「マザーズ会」



産休中や育休中の職員向けに「マザーズ会」という集まりを定期的に開き、育休明け職員の復職サポートや、育児における悩みの共有、復帰後の相談などを受けています。

釣り部



1987年に創部され、40年近い歴史があります。30代から60代まで、幅広い年代の部員が在籍しています。現在は、東京湾内でアジ五目釣りを中心に活動し、初心者でも気軽に参加できる部活です。

店舗ネットワーク

1	本店	足立区千住1-4-16	03-3882-0141
3	本木支店	足立区興野1-15-13	03-3880-2111
4	亀有駅前支店	足立区中川4-26-1	03-3605-2186
5	旭町支店	足立区千住旭町35-19	03-3888-6641
6	竹の塚支店	足立区竹の塚5-15-8	03-3884-5401
7	江北支店	足立区椿2-20-2	03-3896-3131
8	佐野支店	足立区佐野2-21-10	03-3620-2121
9	南花畑支店（六町地域応援相談プラザ併設）	足立区南花畑1-1-30	03-3859-1041
10	皿沼支店	足立区鹿浜8-31-8	03-3857-1511
11	六木支店	足立区六木3-19-1	03-3628-6341
13	青井支店	足立区青井4-1-16	03-3852-6111
14	古千谷支店	足立区古千谷本町2-1-27	03-3899-7811
15	西新井駅前支店	足立区栗原1-1-7	03-3858-7311
16	入谷支店	足立区舎人5-11-15	03-3855-1911
17	柳町支店	足立区千住柳町3-5	03-3879-7711
20	綾瀬支店	足立区綾瀬3-9-20	03-5697-5711
21	中央支店	足立区梅田8-2-16	03-3886-1191
22	北越谷支店	越谷市大沢3-10-13	048-974-7411
23	本木関原支店	足立区関原2-35-23	03-3889-9503
25	草加支店	草加市中央2-4-3	048-922-0236
26	花畑支店	足立区保木間3-34-11	03-3859-3881
27	弘道支店	足立区弘道1-4-2	03-3852-6311
30	八潮中央支店	八潮市中央1-3-37	048-997-1222
	六町地域応援相談プラザ（南花畑支店併設）	足立区南花畑1-1-30	0120-350-490
	北千住地域応援相談プラザ	足立区千住2-57	0120-221-004
	西新井地域応援相談プラザ	足立区西新井栄町2-3-15	0120-321-121
1	本部	足立区千住1-4-16	03-3882-3221（代）



■ ATMコーナー

1	旭町	足立区千住旭町11-7
2	北千住	足立区千住2-57（北千住地域応援相談プラザ併設）
3	西新井	足立区西新井栄町2-3-15（西新井地域応援相談プラザ併設）
4	柳原	足立区柳原2-26-12

★**創業支援施設「あかつき」** 足立区千住旭町11-7（旭町支店の貸金庫併設）

【地域応援相談プラザ営業時間】

月・火・木・金11:00～19:00　土・日10:00～16:00

※毎週水曜日・祝日・GW・年末年始を除く毎日営業

（2025年12月31日 現在）

目次へ戻る



巻末特集

足立成和信用金庫100周年記念座談会　理事×若手職員

金融機関という枠を超えて 地元の未来のために深く関わっていきたい

２人の理事、４人の若手職員の思いは同じ。足立成和信用金庫の原点とも言えるFace to Faceにこだわり、お客さまのために何ができるのか考えていくことはもちろん、ある時は地元の課題解決に取り組み、ある時は地元の魅力を伝える広告塔になり、共によりよい未来を創っていくことについて、座談会を行いました。

櫻井優介副課長（以下、櫻井副課長）　2010年入庫の櫻井優介です。最初南花畑支店に配属となり半年ほど融資営業係を務め、それからは営業畑で来ています。支店を3店舗経験した後、営業推進部で1年ほど本部業務を務め、その後、営業代理として営業店に配属されました。今は副課長として営業推進部に戻り、お客さまのためになっているかを常に考え、新しい施策や商品を提案していけるよう業務に挑んでおります。

吉原彩花係員（以下、吉原係員）　2019年入庫の吉原彩花です。南花畑支店で3年間、その後中央支店で3年半、店頭営業係を務めてまいりました。私は業務中、お客さまとお話しするときに、自分の顔と名前を覚えてもらい、良いきっかけづくりができるように頑張っています。

吉岡航係長（以下、吉岡係長）　2017年入庫の吉岡航です。最初は入谷支店に配属され、その後は弘道支店で営業係を経験しました。その後、人事異動で、私の横にいる森田さんに私の担当地区を引き継ぎ、今は佐野支店にいます。私は融資推進役として回らせていただいており、佐野や六木エリアの法人や地主の方に「足立成和を知らない」と言われることがないように全先訪問し、お取引先を増やしていけるように頑張っております。

森田七海主任（以下、森田主任）　2021年入庫の森田七海です。最初は営業推進部に配属になり、1年半は営業店の預かり資産推進をサポートする業務をしていました。2年目に営業係として弘道支店へ異動となり、吉岡さんの後を引き継ぎました。歴代の担当者が築き上げてきたお客さまとの取引や関係性を大切にしていきたいという思いと、新しく取引してくださる方にもっと足立成和を知ってもらいたいという思いで営業活動をしております。今は主任という立場ですので、自分自身を高めていきたいという思いで頑張っております。

本村昭理事（以下、本村理事）　今、森田さんの話を聞いて、若い頃に新規開拓活動をしていた時の出来事を思い出しました。学生時代は、飛び込み訪問でいきなり「買ってください」と頼むなんて、自分には絶対にできないと思っていました。でも、足立成和に就職して地域をまわり始めると、足立成和を知っているどころか、「玄関先じゃなくて上がって」と言ってお茶を出してくださったり、自分みたいな若造に「定期預金にして」と現金をいきなりボーンと出してくださったりすることもあって、それこそが歴代の担当者が培ってくれた信用や信頼だったのだと改めて思いました。



森田善信理事　1994年に入庫し、中央支店長や本店長、人事部長などを務めた後、2024年より常勤理事に就任しました。

森田善信理事（以下、森田理事）　櫻井副課長が新人だった頃のことはあまりわからないんですが、人事部長だったこともあり、あとの3人はまだ“ひよっこ”だった頃からよく知っているので、今の話を聞きながら、金融機関の人間として、足立成和の職員として、立派に成長してくれていると、嬉しく、誇らしく、思いました。

では、せっかくの機会なので創立100周年を迎えて、これから先のことをどう考えているか、ぜひ聞かせてください。

100周年を迎え これからも大事にすべきことがある



吉岡航係長　2017年に入庫し、入谷支店と弘道支店を経て、2023年より佐野支店で営業係を務めています。

吉岡係長　私は、地元が足立区で、もうすぐ子どもが生まれるのですが、子どもが生まれたら、足立成和の口座をつくろうと思っています。もちろん私にとっては当然のことですが、足立区民全員に、子どもが生まれたら、起業したら、創業したら、足立成和の口座をつくろうと思ってもらうのが、究極の夢ですね。できることは限られていますが、私個人としては、今担当している地区では少なからずそうなれるように、何ができるかを考え、日々頑張っています。

吉原係員　今、金融機関の店舗がどんどん減っているんです。ATMだけになって、窓口が減ってきている状態でも、足立成和には今までの歴史があるので、それを大切にして、気軽に相談できる金融機関として、これからも店舗を残していってほしいと思います。それこそ吉岡さんが言うように、子どもができたら口座をつくるのが当たり前となるように使ってほしいですね。

櫻井副課長　私も信用金庫はFace to Faceが原点だと思っています。店舗がなくなったり、AIとか働き方改革が進み、お客さまと会う機会が減っていくとは思うのですが、信用金庫はお客さまに会うことが一番大事なことなので、それに関しては100周年を超えても大事にしていくべきだと思います。

女性の働き方が幅広くなり選択肢が増えてほしい

森田主任　今、3人が話してくれたように、お客さまとの向き合い方は足立成和の文化だと思います。私はそれ以外のことを話しますね。今、いろいろとワークライフバランスが重視されていますが、女性の働き方がもう少し幅広くなり、選択肢がもっと増えるといいなぁと思っています。足立成和は働きたい人がバリバリ働ける職場だとは思うのですが、多くの選択肢の中から働き方を自分で選ぶことができれば、もっと前向きに頑張っていくことができると思うんです。これから私も意見を言えるようになりたいし、みんなで考えて知恵を出し合い、足立成和を盛り上げていきたいと思っています。

森田理事　確かに、女性の働き方というのは今一度、見直さなければいけないと思っています。これだけ“女性の活躍”と言われているなかで、信用金庫全体での女性活躍の場は、まだ限定されています。今、足立成和には営業係を担当する女性の支店長代理は存在しません。十分なスキルを有していても、「その選択肢はない」と思っている女性職員が多くいるのも事実です。ですので、今後はその考え方が前向きに変わるようにしなければならないと思っています。もちろん、先陣を切って最初に営業代理として業務する女性職員に対し、最大限のサポートをしていくとともに、女性職員と男性職員のそれぞれに応じた「キャリア選択肢」を増やしていければと思います。足立成和の全職員が「将来の理事長候補者」なので、誰もが理事長就任を目指して頑張っていけるような制度を作っていきたいですね。今まで以上に職員の皆さんが「足立成和で頑張ってきて良かった」と思えるようにしていきたいと思っています。

足立区の課題に対しても何ができるかを考える

本村理事　100周年に向けて思うのは、広がりですね。選択肢を増やすとか、お客さまとの接点を増やすとか、どんどん広げていかなければならないと思っています。私が足立区役所へ出向していた際に知ったのですが、足立区には治安、学力、健康、そして親が貧困だと子どもも貧困になってしまう「貧困の連鎖」といった、いわば4つのボトルネック的課題があり、これらを解決していかなければならない、という状況だったのです。それまでの私は、お金が絡むことしか考えてこなかったのですが、この課題を知ってからは、それだけでは足りない、金融の枠組みを超えて我々に何ができるかを考えるべきだと思うようになりました。それによって地域が活性化していけば、結果的に我々に跳ね返ってくるはずです。そのためにひとりひとり何ができるかを考えていくことで、きっと皆さんの活躍の場は広がるはずです。各々の得意なことや勉強したいことを応援する、サポートするメニューもいろいろ考えて用意していくのが我々の仕事だと思っています。

森田主任　私たちに今できることは、営業係として信用金庫の一番の要であるFace to Faceを体現しつつ、目の前のお客さまに対しての提案や説明を真剣に行うことだと思っています。お客さまひとりひとりと向き合う中で、きっといろいろなことが培われて、スキルとして身についていくはずなので、それを自分の力にしていきたいと思います。自分が挑戦してみたいと思える選択肢を増やすためには、まず営業係として目の前の仕事を頑張ることだと思います。

櫻井副課長　私たちの仕事は、一生勉強しなくちゃいけない職業だと思っています。そして今、本部職員として企画立案できる立場なので、常に新しい提案をしていますが、少しでもリスクがあると物事が進まないことも、あります。それでも壁を乗り候えようと、お客さまのメリットを訴え、積極的に提案する努力をしています。部下育成も重要な仕事ですので、今後さらに上の役職をいただいた際には、「どんなポジションであれ、与えられたポジションで一生懸命やってくれる人材」が育つよう、自分も今まで以上に勉強しかり仕事しかり、一生懸命やっていきたいと思います。

本村理事　私が若い人にやってほしいのは、新聞を必ず読むことです。今はスマートフォンでニュースが見られますよね。でも、それは点でしかなく、新聞は面なんです。Aが起きて、Bが起きて、Cが起きて、どこかでつながっています。例えばスポーツでどこかが優勝すれば、関係企業が儲かったり、この企業が儲かれば、さらに別の企業が儲かったりと「つながり」があるという風に、新聞の世界には深みがある。このことはぜひ、今ここにいる皆さんの後輩や、新聞を読む習慣のない職員に伝えてほしいですね。

チャレンジ精神を忘れずにみんなで頑張っていきたい

森田理事　私は、チャレンジ精神を忘れないでほしいですね。さっき櫻井副課長が言っていたとおり、新しい提案でもリスクがあるなら、十分に調査して慎重に検討しなければならないが、リスクを恐れてばかりだと前に進めない。だから失敗して落ち込むこともあるだろうけど、前に進むため、いろいろなものに興味を持って、アンテナを高くして取り組み、失敗を恐れずにチャレンジしてほしいです。そういう風土は今もありますが、さらにそのような金庫へと変えていきたいと思っています。逆に変えてはいけないのは、お客さまのために何ができるかを常に考えて仕事をしていくことです。それが巡り巡って自分たちの糧になってくるはずです。皆さんは、まだ若いから、チャレンジしていきましょう。我々も50代ですが、チャレンジしていきたいと思っています。

では、仕事以外でチャレンジしたいことはありますか？

吉岡係長　私は子どもが生まれたら、一緒に英会話をしてみたいですね。子ども一人に習わせるのではなく、一緒に英語を学びたいと思っています。



吉原彩花係員　2019年に入庫し、南花畑支店で3年間勤務後、2022年より中央支店で店頭営業係を務めています。

吉原係員　私は旅行が好きなので、海外もよく行きますが、日本もまだ訪れたことのない地域がたくさんあるので、未知の地域を訪れていろいろな体験をしていきたいです。

森田主任　私は実家を出て半年経つのですが、お料理のレパートリーを少しずつ増やしていけるように、頑張りたいと思っています。



櫻井優介副課長　2010年に入庫し、4つの支店などを経て2023年より営業推進部で副課長を務めています。

櫻井副課長　私は、子どもがあと10年もすると成人するので、その後でも夫婦でできる趣味を新たに見つけたいと思っています。

本村理事　私も旅行です。下の子がもうすぐ大学を卒業して、やっと自由な時間ができるので、自分で行き先を決めるのではなく航空会社がランダムに行き先を決めてくれるような旅をして、今まで行ったことがないようなところに行ってみたいと思っています。

森田理事　アメリカ横断一人旅です。そのために今は語学勉強を一生懸命しています。旅行会社に頼らず、1人で世界中どこでも行けるぐらいタフな男になりたいです。

本村理事　では皆さんに聞きたいのですが、足立区・越谷市・草加市・八潮市のメイン営業地区と足立成和の関係性はどうなると思いますか？

吉岡係長　八潮の道路陥没事故を受けて、東京都の下水道工事業をされているお客さまからご相談を受け

たことがありました。基本的に、都区内の下水道管は東京都の管轄なのですが、足立区内の雨水を排出する一部の下水道管は足立区の管轄となっているそうです。雨管からでも陥没事故が起きるリスクがあるため、足立区にも検査をやっていただくよう、お取次ぎさせていただきました。結果として、足立区役所の担当職員の方に下水道工事業者ならではのご意見をお伝えして、足立区の防災力向上をお願いすることができました。この経験を通して、たとえ、直接の利益につながらなくても、地域の皆さまのために足立区と地元企業との橋渡しをしていきたいと思いました。

櫻井副課長　我々のメイン営業地区の中でも、足立区は東京都の端に位置していますが、東京都というネームバリューもあり財政は安定しており、人口増加などの伸びる要素が多くある。そんなエリアにある金融機関だからこそ、していかなければならないサービスがあるはずだと思っています。

地元の金融機関として踏み込んでおせっかいしたい



森田七海主任　2021年に入庫し、営業推進部を経て、2023年より弘道支店で営業係を務めています。

森田主任　足立区に生まれて、足立区で育ってきたのですが、足立区の課題に関しては感じることが多いですね。メディアで言われているように、東京都だけど東京都じゃない感じや、少し田舎っぽく見られてしまうところは、正直共感してしまいます。そんなマイナスイメージをポジティブに変えて、足立区の魅力を発信していけたら良いと思います。金融面だけではなく、地域における一企業として、足立区にはこんな企業があって、こんな良いところがあって、こんなに素晴らしいのだと伝えていきたいですね。今も「お菓子のまち　あだち」のPRなどでお手伝いはしていますが、地元の金融機関としてさらに踏み込んで“おせっかい”していけたらと思っています。

吉原係員　私は春日部市で育ってきたから気づくのかもしれませんが、足立区民の方々は他の人が思っているより足立区ラブじゃないですか。地域の方々と話していると、足立区が好きなんだという気持ちがとても伝わってくるんです。その気持ちを新しい住民の方や他の地域の方にも知っていただくために、足立成和が先導して、その思いをどんどん発揮できる場所や機会をつくり、足立区の魅力を広めていけたらと思っています。

本村理事　私は足立区や埼玉の南東部には、東京スカイツリーや浅草寺のような知名度のある名所や名物が少ないと思っています。しかし、2025年に千住宿の開宿400年を迎えてみて、この瞬間も大切な歴史なのだから、未来に向けて今からつくっていくことも良いのではないかと考えています。足立区と言えば、こういう食べ物、こういうサービス、こういう人間性、こういう歴史などがあって、それが共通認識となれば、それを見聞きした人や体験したい人がどんどん集まってくるはず。そのためのお手伝いや発信をしていきたいと思っています。

みんなが大好きな足立成和信用金庫になろう

森田理事　今も、営業店で以前関わったことのあるお客さまと会うと、「足立成和さんのおかげで」なんておっしゃっていただけるのですが、本当に嬉しく感じるとともに、そのくらい愛されている信用金庫だと思います。そのように感謝のお言葉をいただけることは、本当に嬉しいです。でも、より一層地域の皆さまに愛される信用金庫になるために何ができるかということを考えていきたいと思っています。創業する事業者を支援したり、イベントを主催したり、名所をつくったり、いろいろ追求していきたいですね。とはいえ、足立成和はこれまでも名物イベントをつくり出してきたこともあり、もしかすると我々が思っている以上に、お客さまから愛されているのかもしれないですよ。そのことを自信としてもちながらも、それに甘んじることなく、未来に向けてさらに追求していきたいと思っています。どこに行っても愛される、役職員の立場でも胸を張って「足立成和が大好き」と言える、そんな信用金庫になれるように、頑張っていきたいと思っています。

表彰台で表彰されるとモチベーションは上がります

本村理事　せっかくの機会だから、我々理事の二人に、こうしてほしいとか、こんなことはしないでほしいとか、何か言いたいことがあれば、ぜひ聞かせてください。

櫻井副課長　そんなこと、なかなか言えないですよ。

森田理事　なにかあるなら、言ってごらんよ。

吉原係員　来年、主任になれる歳なんですが・・・。

森田理事　試験、受かりましたか？

吉原係員　あと2つ受からないといけないんですが・・・よろしくお願いします。

森田理事　ここで聞いたからって昇格させるわけにはいかないでしょ（笑）。試験、頑張ってください。

吉岡係長　私から1つだけいいですか。組合の委員長を務めることになったので、労使協議会とかでお会いする場面がありましたら、お手柔らかにお願いします。

森田主任　私からもいいですか。営業活動で好成績を収めた職員を表彰する際に、最近は1位の受賞者しか表彰台に上がらないですよね。今まで頑張ってきたのに2位以下の受賞者は名前を呼ばれるだけということに、違和感を覚えていました。表彰台に上がることでモチベーションを上げていた職員が何人もいると思います。

森田理事　表彰にかかる時間を短縮するために、そのような手段をとったのだけれど、確かに全員が表彰台に上がったほうが良いですよね。親しい職員が表彰されるとしたら嬉しく思いますよね。私自身もですが、自分の家族や支店の仲間、そして同期が表彰される姿を見たら嬉しいだろうし、それを見てもらうことでモチベーションも上がると思います。思い返してみると、私も表彰されたくて頑張っていたし、表彰台で賞状をもらったからこそ、「これからもやってやるぞ！」とモチベーションも上がるはず。せっかく今まで頑張ったのに名前を呼ばれるだけでは、少し寂しいですよね。表彰する機会や場所などが変わってしまうかもしれないけれど、その意見は受け止めました。



本村昭理事　1997年入庫。西新井駅前支店長や総合企画部長などを務めた後、2024年に常勤理事に就任しました。

本村理事　今の表彰の話のように時短や効率化を求めすぎて職員のモチベーションが下がってしまうと、信用金庫として地域の皆さまのためにもならないので、このような機会に直接お話できて良かったと思います。

森田理事　100周年のその先の未来に向けて、地域の皆さまのため、自分たちの未来のため、役職員一丸となって頑張ってまいりましょう！本日はありがとうございました！

全員　ありがとうございました！



（2025年10月7日（火）　足立成和信用金庫　本店本部ビルにおいて）

目次へ戻る

あとがき

おかげさまで足立成和信用金庫は創立１００周年を迎え、ここに創立１００周年記念事業の一環として記念誌を刊行する運びとなりました。

この記念誌は、９０周年記念誌刊行より今日に至るまでの１０年間の歩みを中心に記録編纂いたしました。本誌編纂を通じて、地域の皆さまと当金庫の発展にご尽力された先輩役職員の皆さまの熱い想いに触れ、改めて地域金融機関としての使命を再認識いたしました。その想いをこれから先の未来へつなぎ、地域と共に歩んでまいりたいと存じます。

最後に、本記念誌の編纂にあたり、ご支援ご協力賜りました関係各位に深く感謝申し上げます。

足立成和信用金庫 総合企画部 企画グループ 広報推進担当

創立１００周年記念事業の様子や関連情報は、公式ホームページおよび創立１００周年記念特設サイトに掲載しております。スマートフォンのカメラをかざし、下記二次元コードよりぜひご覧ください。

当金庫公式
ホームページ

創立100周年記念
特設サイト

足立成和信用金庫

足立成和信用金庫 創立100周年記念誌

2026年3月17日発行

発 行　足立成和信用金庫　東京都足立区千住1-4-16

編 集　足立成和信用金庫 総合企画部 企画グループ 広報推進担当

制 作　株式会社アイズ　　印 刷　弘和印刷株式会社

目次へ戻る



ADACHI SEIWA
SHINKIN BANK